

乙訓地域諸団体紹介

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で活躍されている団体をご紹介します。

NPO法人にほん燦クラブ様

NPO法人にほん燦クラブさんは、主にセミナーや講演活動をしておられます。すべての判断は心です。ということとでセミナーに参加し、明るく元気な心をもって頂くようにしておられます。そして、このセミナーの特徴として社長だけではなく、配偶者・従業員の三者での参加とことです。現在多くの企業でも注目されている事業継承の側面から見ても、社長だけではなく従業員さんにも企業理念や会社の方向性などを知って頂くことが円満な事業継承の秘訣だとも言われていました。また、その学びの一年間の集大成として二〇一九全国喜び発表が十二月十四日・十五日とホテル京都エミナスで開催する予定で、一年間の喜びなどの報告があるそうです。一般の方も参加できますので是非お問い合わせ下さい。また燦クラブ会館は普段多目的ホールをイベントなどに貸し出し、寿絵更紗ミュージアムとして世界でも珍しい手描きの更紗作品が期間限定で展示されています。

NPO法人にほん燦クラブ

【携帯電話】075-934-6395
【メール】info@suncub.or.jp



シニアライフサポートにしきょうと様

シニアライフサポートにしきょうとさんは、高齢化する社会の中で、高齢者が楽しく安心して暮らしている地域社会づくりをサポートしていくことを目的に活動されています。高齢者が社会から孤立しないように集い、触れ合う場所を提供していく。特に高齢男性は家に引きこもる傾向があり、多くのサークル活動も女性の参加が大半で、男性が参加するにはハードルが高いのが現状です。そこで、男性に限定した、「男の居場所」の会・向日を立ち上げ高齢男性の社会参加を促しておられます。元々、長岡京市にあった会ですが、向日市でも活動して行こうと考え、現在参加者を募っておられます。毎週金曜日・午前十時から十二時。場所は寺戸公民館内・向日市民協働センター。会費は月千円です。是非ご参加ください。

シニアライフサポートにしきょうと

【携帯電話】090-2194-7205 (南橋様)



乙訓新聞

OTOKUNI News Paper
2019年12月号



コンテンツ

- ・卒業生の一言
- ・例会報告
- ・第一回臨時総会
- ・まちづくり実行委員会
- ・ギャンブラーズ全国大会
- ・文化少年団
- ・全国大会・卒業式
- ・会員募集
- ・乙訓地域諸団体紹介
- ・イベントカレンダー



OTOKUNI JCI
official homepage



facebook



Instagram

卒業生の一言



豊西 寛行

乙訓青年会議所に入会するきっかけとなったのは、入会説明会の時に初対面の私に対して田中理事長は低姿勢で気遣い、私の目線まで腰をおとされお話をしてくださる姿勢に感動したので今でも覚えています。例えば、親は、子供に対して偉そうに「お前、宿題したか」といいます。子どもが小学生なら小学生の目線まで下がって話すことが大事なことで、それが教えるべきです。後輩の皆様もその気持ちを忘れず、青年会議所活動を頑張ってくださいと思います。



堀内 あろむ

僕みたいに自分の都合のつく時だけのJCI活動でも、良くしてくれた沢山のメンバーの皆様本当にありがとう、ございます。短い間ではありましたが、少しでも乙訓という地域に対して携わってこられたことを嬉しく思います。また拡大の委員会を2年しましたが、いまだにJCIに入会する理由は見当たりません。しかしながら辞めようと思っただけで卒業してJCIと言ってしまうのは、継続して携わっていただけだと思います。最後に、JCIで得たかけがえのない仲間達と経験を財産に今後を歩んでいきたいです。ありがとうございました。



益田 新

二〇一五年十月に入会させて頂きました。入会の決意として、入会説明会で志の高い、魅力のある人ばかりだと感じ、私も成長したいと思いい入会に至りました。乙訓青年会議所では人前で話す機会や海外での事業など初めての経験ばかりでした。また、パソコンでの作業など、苦手なことにもチャレンジすることになりました。乙訓青年会議所での出会いが私にとっての財産になったと思います。乙訓青年会議所で得た経験を活かし、これから成長していきたいと思えます。



松本 美由紀

地域でもともと活動していた私にとってJCIとは同じ年代の幅広い職種の方に出会えたり、出向によって広域的な活動ができたりと、多種多様な価値観に触れることができる貴重な場となりました。先輩や仲間と叱咤激励頂き、本音で叱ってくださり、本音で語り合える仲間ができたということは何物にも代えがたい財産になりました。まさに大人の学び舎です。お世話頂いた皆様にお心から感謝御礼申し上げます。



三浦 靖

「俺たちは、誰もやりたくないことをやっていた。評価なんて求めなくていい。必要とされたときに必要以上にかえせる自分であろう。自分を信じて、仲間を信じて、疑うことなく未来のために」その言葉に強烈な襲撃を受け、自分自身も「最後まであきらめず、確固たる信念をもってやりきったものだけに見える景色と、達成感から自己成長をあげよう」と、乙訓青年会議所がさらに発展して行くものと確信します。と自分の原体験からの、正直な考えであります。乙訓青年会議所が今後も唯一無二の団体であり続けますことを心から願っております。



宮下 祥平

乙訓青年会議所に入会し五年目を迎えます。今思えばあつという間でしたが、普通に生活しては味わえない、非常に濃い五年間を仲間とともに過ごさせて頂きました。本当にしんどいこともありましたが、やめたいと思っただけでも卒業を迎えようことは、やってよかったという気持ちだけです。JCIでの経験を今後の人生に活かしていきたいと思えます。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。



百々 尚輝

二〇一五年七月に入会させて頂いて、四年半の乙訓青年会議所活動をさせて頂きました。この間に多くの事業に参加させて頂いた中でも、特に二〇一七年・二〇一九年の乙訓DR EMフェスタと四〇周年記念式典懇親会では、事業が成功したことよりも協力してくれたメンバーに感謝した気持ちに大事にしていきたいと思えます。四年半の青年会議所活動の中で、多くの方々と出会ったことが人生において自分自身の大きな財産になったと思います。本当にありがとうございました。

十一月例会

十一月十四日(木)長岡京市中央公民館三階市民ホールにて、十一月例会が開催されました。現在、青年会議所がこの乙訓(まち)に必要な組織であると認識し、自身が所属する意義を見出しにくい現状があり、地域のリーダーとしての在り方とさらなる資質の向上が必要であると考え、新たな価値を創造できる発想をもった人財となることを目的として開催させて頂きました。内容として、二部構成でさせて頂き、第一部では講師講演として、講師に山崎 亮氏をお招き致しまして、「人の繋がりが生まれ新たな発想とは」をテーマにご講演頂きました。コミュニケーションデザインという今後、地域再生や地域活性において重要な役割を担う職業の講師から原体験をお話して頂き、新たな価値を生み出すことができる可能性を理解し、青年会議所活動の幅を広げることができる学び多い講演となりました。第二部では「地域課題の解決から新たな価値を創造する」をテーマに各委員会に分かれて頂き、委員会ごとに人と人をつなげるワークショップを行い、様々な人材の集まりの中で、新たな価値を生み出す手法を得ることができた機会となりました。全体を通じて、地域市民を巻き込むことが、今後の地域活性の重要な第一歩であるということをお伝えし、乙訓地域の活性や地域創生を目指す新たな考え方を身に付け、今までのとは違うアプローチで行動できる、学び多い事業となりました。



次回例会案内

【十二月例会】
単年度制で運営を行う青年会議所において、事業を引き継ぐだけでは組織の継続と発展には至らず、地域からの負託と信頼に応え続けることは叶いません。本年度、「新に挑む」志を胸に新たな価値を創造しよう」のスローガンのもと生まれた実績と志を無駄にすることなく継続的に発展できる組織となる必要があると考え、本年度、展開してきた運動における成果の実感が次年度への活動意欲の醸成に繋がるとともに、今後のLOMの発展の一助となることを目的として開催させて頂きます。

【日時】二〇一九年十二月十二日(木)
十三時～十五時三十分(登録開始 十二時)
【会場】ハイアットリージェンシー京都
ボールルーム

【卒業式・忘年会】
卒業式では、明るい豊かな社会の実現に向けて邁進してこられた卒業生の活動と功績への敬意と、新たに旅立つ「それぞれの想い」を繋ぐ必要があると考え、卒業生が感動的で達成感に満ち溢れたフィナーレを迎え、その雄姿を見送ることで青年会議所活動に対する意識を継承することを目的として開催させて頂きます。
忘年会では、本年度の活動を支援して下さった先輩諸兄姉への感謝と、メンバー同士が互いを認め、次年度へ向けて活動意欲を高める必要があると考え、参加者全員の絆がより強固なものとなることを目的として開催させて頂きます。

【日時】二〇一九年十二月十二日(木)
【卒業式】十五時五十分～十九時
(登録開始 十五時三十分)
【忘年会】十九時三十分～二十一時三十分
(登録開始 十九時)
【会場】ハイアットリージェンシー京都
【卒業式・忘年会】ボールルーム

文化少年団

十一月三日(日)辻農園にて芋掘り体験をさせて頂きました。沢山の薩摩芋が収穫でき、取れたての薩摩芋をその場で調理し、チップスと味噌汁にして皆で食べました。スコップ片手に夢中で薩摩芋を掘る子供たちの姿が印象的で、芋掘り体験を通じて良い経験となりました。本年度、乙訓文化少年団では子供たちが乙訓文化少年団での新たな仲間との出会いや様々な体験での気づきや学びを通して、「生き抜く力」を育むことを目的として開催しております。十二月が最終事業となります。多くのご参加宜しくお願い申し上げます。

次回開催案内
【内容】餅つき・防災教室
【日時】十二月八日(日) 九時～
【会場】長岡天満宮



まちづくり実行委員会

十一月五日(火)長岡京市中央生涯学習センター六階創作室にて、まちづくり実行委員会が開催されました。地域諸団体様と乙訓DREAMフェスタの引継ぎ内容など、意見を出し合う場となりました。また、次年度に向けて「まちづくり実行委員会」がどのような体制で活動して行くのかを話し合う大変貴重な時間となりました。

次回開催案内
【日時】十二月三日(火) 十八時三十分
【場所】長岡京市中央生涯学習センター六階創作室

FTセミナー案内

我々の理念である「明るい豊かな社会の実現」に向けた運動を未来永劫継続すべく、入会歴の浅いメンバーが次代を担う人財としての資質を向上するとともに、今後の乙訓青年会議所を牽引する人財となる必要があると考え、青年会議所の基礎を理解した上で、活動する価値を認識するとともに、活動意欲の向上に繋げることを目的として開催させて頂きます。

【日時】二〇一九年十二月七日(土) 一日目
十八時三十分～二十時三十分
(登録開始 十八時)
二〇一九年十二月八日(日) 二日目
八時～十二時四十三分
(登録開始 七時三十分)
【会場】
【FTセミナー(二日目・LOMナイト)】株式会社LIV SUBACO グラウンド
【FTセミナー(二日目)】長岡天満宮

今月のコレ！買いました！

正会員メンバーが今月買ったモノからその人となりを知るコーナーです。今月は広報戦略委員会の石井佑典さんです。

【最近買ったモノ】iPhone11Pro
【なぜそれを買いましたか】以前使っていたiPhone7が、充電が早くなるようになり、次の携帯を何にしようか考えていた時に、ちょうど発売が発表された。カメラが三台付いていて、今年の委員会は広報に配属もあり、写真が綺麗に残せると思ったので買いました。



会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を三信条として様々な活動を行っている集まりです。地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味ございます方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(075-957-1230)までご連絡ください。お待ちしております。

今年度入会者数4名 正会員69名

今年度35名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります。



十一月二十日(水)西村先生宅にて公益社団法人乙訓青年会議所茶道同好会青松会(以下、乙訓青松会)の十一月お稽古が行われました。乙訓青松会では、乙訓青年会議所現役メンバーと卒業生で構成される会員が、茶文化を通じて、精神鍛錬や所作を学ぶ機会として、通常月に一回お稽古を行っております。
来年二月九日には、光明寺で行われている月釜を担当することが決まり、お客様に喜んで頂けることを目標として、十月からは月に二回程度に増やしてお稽古を行っております。また、三月二十八日(土)には乙訓青松会十五周年茶会が開催される予定です。
「茶道は、作法やお菓子、お軸やお花に込められた意味を紐解き日本の文化を楽しめるようになり、心身ともに豊かな人格形成に役立つと思います。お茶をいただくだけでも結構ですとお気軽にお越しください。」(乙訓青松会田中会長談)

【問い合わせ先】乙訓青松会 事務局次長
平木 〇九〇―八五二八―一五九九



大成会ブロック報告会並びに伝達式
十月二十五日(金)ANAクラウンプラザホテルにて「京都ブロック協議会二〇一九年度大成会」ブロック報告会並びに伝達式」が開催されました。木戸会長のもと「きょうとはちがう、未来へ」のスローガンのもと活動を展開されてこられた京都ブロック協議会の一年間の事業を振り返るとともに、二〇二〇年度榎田会長予定者のもと、活動への思いや意気込みをメンバーに伝えられました。二〇一九年度乙訓青年会議所から多くのメンバーが京都ブロック各委員会に出向され、その労をねぎらうとともに、二〇二〇年度に出向の魅力を広げる機会となりました。また、二〇一九年度に卒業されるメンバーの方々を大勢でお祝いする設えもあり、素晴らしい一日となりました。



石井 佑典 いしいゆうすけ Profile

所属：広報戦略委員会
仕事：スポーツクラブ経営
趣味：テニス
特技：なし
利腕：右腕
血液型：O型
好きな食べ物：お米、牛肉

会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を三信条として様々な活動を行っている集まりです。地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味・ご意欲がございましたら、公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―二三三〇）までご連絡ください。お待ちしております。

今年度入会者数4名
正会員69名

今年度35名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります。



乙訓地域諸団体紹介

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で活躍されている団体をご紹介します。

おもてなしウィーク実行委員会様

二〇〇八年からまちおこしをテーマにスタートして今年で十二年目になります。二〇一五年より企画・運営が商工会から有志の『実行委員会』に移行し、天下分け目の戦いに思いをよせつつ汗を流しておられます。町内一円の七十件のお店や工房・自宅で活動するプロ・アマの出店者の皆さんから、見たり、買ったり、食べたり、聞いたり、体験したりする三日間を開催しております。今年は、十一月二十二日（金）二十四日（日）に開催されます。街を歩いて【秀吉】【光秀】【利休】のポスターと一緒に写真を撮り、合戦武将とじゃんけん勝負するイベントも行われます。井幡様のアイデアは、過去に、絵付けの職人に弟子入りしたり、インドネシアやドバイで働いたり、JICAのシニア海外ボランティアに応募して、ラオスやホンジュラスに計約七年駐在し、織物や木工品などの市場開発、一村一品開発に関わるなどの経験から生み出されています。JICAは語学も学べ、貴重な経験ができるとおススメされました。そんな井幡様が先頭に立って、開催される「おもてなしウィーク」に是非ご来場ください。



井幡 和幸様

乙訓新聞

OTOKUNI News Paper
2019年11月号



コンテンツ

- ・卒業生の一言
- ・例会報告
- ・第一回臨時総会
- ・まちづくり実行委員会
- ・ギャンブルラース全国大会
- ・文化少年団
- ・全国大会・卒業式
- ・会員募集
- ・乙訓地域諸団体紹介
- ・イベントカレンダー

OTOKUNI JCI
official homepage



facebook



Instagram



卒業生の一言



大塚 健介

乙訓青年会議所に入会してから早いもので十二年が経ちました。その中で、多くの人との出会いや様々な経験を重ねたことで、今後の人生において大きな糧を得ることができました。現役の皆様には卒業する時に悔いの残らないように精一杯活動して頂けたらと思います。長い間お世話になりました先輩の方々やメンバーの皆様、本当にありがとうございました。



草場 大輔

在籍期間が短く、あっという間の三年間でしたが申し訳ないくらい楽しませてもらいました。JCI生活で乙訓の地で、地域の皆様と関わることが仲間との出会いは私にとってかけがえのない財産です。卒業しても地元・乙訓のためにやれることを私なりにやっています。この乙訓新聞をお目通しの上すべての方へ感謝と御礼を申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。



近藤 宏和

乙訓青年会議所へ入会するきっかけは人それぞれだと思います。社会への奉仕、他者との友情、自分磨きの修練等々また、日々の活動の中で全てに重きをもっている人もいればそうでない人もいます。本当に様々な思いがそれぞれにあり、その時その時、真剣になれるからこそ、また面白味がある組織だと私は感じています。また、入会しなければ出会えなかった信頼できる友人や尊敬できる先輩という存在が僕の中にできたことが本当に良かったと思っています。限られた時間を有意義なものにできるのは自分自身の今の行動だと思います。楽しんで下さいね！



崔 祥龍

乙訓青年会議所に入会し、約一年半活動させて頂きました。その中で私に関わって下さった先輩の皆様をはじめ、同級生や後輩の皆様、本当にありがとうございました。青年会議所活動を通して、両手いっぱい人生の多くを教えてくださいました。それが、間違いなく私にとって人生の羅針盤となりました。この羅針盤を携えて元気に明るく、みんなが幸せになるために尽力できるよう、今後の人生を邁進してまいります。本当にありがとうございます！克己！！



佐々木 真一

あつという間の三年半でした。当初は熱い思いをもって入会しましたが、なかなか思ったような活動はできず、やりたいこともやれなかったように思います。しかし、ラストイヤーで何かしてみたい・このままでは寂し過ぎると思いついて、プロックと地区に出向しました。その中でたくさんのお出会い・経験ができ本当に楽しいラストイヤーを送っています。もっと早くに出向していただくと今は少し後悔が残っています。お世話になった先輩諸兄姉・現役メンバーに心より感謝しております。残り数か月悔いのないJCI生活を送りたいと思います。



新庄 洋平

乙訓青年会議所でお世話になりました先輩諸兄姉の皆様、メンバーの皆様にご挨拶申し上げます。短い間ではありましたが、少しでも乙訓という地域に対して携わってこられたことを嬉しく思います。今後は卒業してJCIという立場での活動ではなく、職場でが、継続して携わっていただけたいと思います。最後に、JCIで得たかけがえのない仲間達と経験を財産に今後を歩んでいきたいです。ありがとうございました。

11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	11月
11月	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	11月
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	土
ふるさとふれあい駅伝	ガラシャまつり	第八回正副予定者会議	JAYCEE育成委員会	じゃがいもコンペ	青松会（お稽古）	十一月例会	第三回理事予定者会	Jネットワーク構築委員会	第三回理事予定者会	第十一回理事会	乙訓青年会議所 FTセミナー事前説明会 青松会（お稽古）
											行政・他団体

十月例会

十月八日（火）長岡京市中央生涯学習センター三階メインホールにて、十月例会が開催されました。二部構成で行われ、第一部に「出向という学び多き機会」をテーマとして、委員会発表では、京都ブロック協議会の委員会活動の説明や乙訓青年会議所との比較、役職の重要性について説明がありました。出向者発表では、初出向者・スタッフ出向者が自身の変化や成長の気付きを発表して頂きました。また、委員長からのビデオレターを上映し、出向先の委員長から出向メンバーにメッセージを頂き、出向者は自身では気付かない成長を知り、見たメンバーは活躍や成長を知り、LOM全体が周知することで、今後のJC活動を意欲的に進める内容となったと考えます。そして、第二部では「出向の魅力と自己成長」をテーマに近畿地区協議会、京都ブロック協議会の両方で会長を務められた張本昌義様をお招きして、出向で期待できる成果についてご講演頂きました。委員・スタッフ・役員とステップアップすることで得られた自己成長の実体験や自己成長には何が重要であるかを知り、意欲的な活動に繋がるご講演をして頂き、講師が出向で得られた成果を自身と照らし合わせること、より明確に成果を意識でき、出向先で得た成果や魅力をLOメンバーが理解し、次年度以降の活動意欲に繋げることができたと考えます。



次回例会案内

現在、青年会議所がこの乙訓（まち）に必要な組織であると認識しづらく、自身が所属する意義を見出しにくい現状があります。地域のリーダーとしての在り方とさらなる資質の向上が必要だと考え、新たな価値を創造できる発想をもった人材となることを目的として開催させて頂きます。

【日時】十一月十四日（木）十八時 登録開始
十八時三十分～二十一時
【場所】長岡京市立中央公民館 三階 市民ホール

第一回臨時総会

十月四日（金）長岡京市中央生涯学習センター三階メインホールにて、第一回臨時総会が開催されました。二〇二〇年度公益社団法人乙訓青年会議所 役員選任（案）に関する件が審議上程され、全員の可決をもって承認されました。その後二〇二〇年度第四一代理事長予定者の達城英治君からメンバーに向けて所信が発表されました。今後の活動に向けてさらにメンバーが一丸となる貴重な日となりました。

まちづくり実行委員会

十月一日（火）長岡京市中央生涯学習センター六階創作室一にて開催されました。九月一日（日）に開催された乙訓DREAMフェスタ・四〇周年記念事業を振り返り、良かった点や悪かった点を地域諸団体の皆様と意見交換できた大変貴重な時間となりました。



ギャンブラーズ全国大会

十月十日（木）富山の地において、「JC全国野球大会 in となみ」が開催されました。近畿地区代表として出場した乙訓青年会議所野球同好会「ギャンブラーズ」は一回戦に北海道地区代表と対戦致しましたが、惜しくも敗退となりました。しかしながら、目の前の一勝に向けてチーム全体が一つになり、一つの白球に集中して戦い抜きました。近畿地区代表として、OBと現役が一枚岩となつて全国大会で戦えたことを誇りに思います。この経験を続けていけるように、乙訓ギャンブラーズは次年度に向けて動き出しております。応援に駆けつけて頂いた皆様、誠にありがとうございました。



全国大会・卒業式

十月十日から富山の地で第六十八回全国大会が開催されましたが、台風十九号によつて十二日に開催される予定のフアクシヨンの中止が決定し、一日に大会式典・卒業式が、オーバード・ホールで開催されました。しかし、台風の影響で交通機関の運行停止があり参加できないメンバー多数居られました。式典は、富山市長の挨拶で始まり、公益社団法人日本青年会議所兼田長明会頭は、「私たちは社会を依り良く変えようとする若者の集い。地域、日本、世界をより良くするためにインパクトを与えられる」、「変化を起こすことはおもしろいこと。皆さんの心地よい場所から飛び出して行動しなければ何も変わらない。ぜひ発想を変え、行動しましょう」と熱い思いを述べられました。その後第六十九代会頭予定者石田全史君から二〇二〇年に向けての思いが述べられました。そして次年度の大会鍵が富山青年会議所から、札幌青年会議所に渡されました。卒業式では、代表のスピーチで現役に熱い言葉を頂きました。



文化少年団

十月六日（日）乙訓消防組合消防本部にて第八回乙訓文化少年団が開催されました。災害時にどのように対応すれば良いのか、実際に災害が起きたことを想定し、人間の模型を使用しながら心臓マッサージのやり方やAED（自動体外式除細動器）の使い方などの講習を受けました。また、消防車や救急車の仕組みなども教えて頂き、子供たちだけではなく大人たちも興味がありました大変貴重な時間となりました。



乙訓DREAMフェスタ 2019



乙訓新聞

OTOKUNI News Paper
2019年10月号

- コンテンツ
- ・例会報告・記念事業
 - ・次回例会案内
 - ・卒業生主催委員会対抗ゴルフ
 - ・ギャンブラーズ
 - ・会員募集
 - ・今月のコレ！買いました！
 - ・乙訓地域諸団体紹介
 - ・イベントカレンダー

九月一日(日)向日市競輪場第四駐車場で、今年も乙訓DREAMフェスタが開催されました。乙訓二市一町の交流と活性化を目指し、今年で六回目の開催となりました。

九月例会にて、メンバー全員の役割を改めて確認し、成功への意識を統一しました。ステージでは、十一時より「しもぐち☆雅充さんと貴志麻以子さん」による司会のもと、向陽高校書道部によるオープニングアクトが盛大に行われ、その後もダンスや音楽発表が行われ終始盛り上がり続けたステージになりました。十六の地域諸団体と月に一度開催される「まちづくり実行委員」を通して、準備を進めていき、当日は地域諸団体のブースや乙訓地元グルメ飲食店にも多く出店して頂きました。「出店ゾーン」では、スーパーボールすくいやヨーヨーつりの体験型の屋台のほか、飲食物の屋台を設置し、フェスタ全体の楽しい雰囲気を出され、退屈せずに遊べる場所を提供しました。また、来場者に昔ながらの様々な遊びに触れて頂き、楽しい思い出を創ることができたと考えます。「ふれあい・つながりゾーン」では、見ず知らずの子どもたち同士で泡のプールの中に入って遊んで頂き、泡が大量に放出されるタイムイベントでは子どもたちの大歓声に包まれました。大人も子供も一緒に楽しんでいる様子も見られ、普段できないことを提供する

ことで、より心に残るふれあいを作ることができました。泡プールの様子は京都新聞やヤフーニュースのトップの記事にも取り上げて頂き、大変大きな反響がありました。「わんぱく自転車レースゾーン」では、向日市競輪場と連携し、東京オリンピック種目でもある子ども用のバイシクルモトクロス(BMX)を体験して頂き、遊んで頂きました。また、各年齢を対象としたスピードを競う「タイムトライアル大会」を開催し、一位、二位、三位には三浦理事長よりメダルと賞状が授与されました。子どもたちが遊んでもらうことで向日市競輪場のイメージの転換をはかることができ、子どもたちは真剣にタイムトライアルに挑戦していました。「スポーツ体験ゾーン」では、新しい感覚の二つスポーツ、ドッジビーとラダーの体験をして頂きました。ドッジビーはドッジボールのルールではなく、布製のフライングディスクの一種で行い、安全性が高く投げ方が簡単で年齢問わず楽しめるスポーツです。ラダーはハシゴという意味であり、ハシゴを地面において、つまずかないようにマスをステッププレタイムを競うなど、遊び方は様々です。二つの新感覚スポーツを通じて多世代クラスの友達、連う学校の友達、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど、色々な世代の人が集う、世代を超えたコミュニケーションの場を作ることができました。フィナーレでは、乙訓青年会議所の四〇周年事業として事前に募集し、当日の投票によって決まる乙訓地域のロゴのデザインが発表され、竹をモチーフにしたロゴが誕生し、会場が沸きました。このロゴはフリー素材として使ってもらえる予定となっています。乙訓DREAMフェスタで市民、行政、地域諸団体とともに乙訓二市一町の交流と活性化に繋がる事業を創り上げることができたと確信しています。次年度さらに良い事業へ繋げるために、しっかりと検証して引き継ぎたいと思っております。本当にありがとうございました。

OTOKUNI JC official homepage

facebook

Instagram



PVPダンススタジオ様

アンソニーは、金山さんがロンドンに当時のダンススクール生を連れて行ったときに出会いました。アンソニーが金山さんの生徒を気に入って、指導したのがきっかけです。アンソニーは、元々アニメを通じて日本が好きで、その中でも、都会的な要素と静かな田舎的な要素のある京都が特に好きになったようです。アンソニーはダンスで世界ツアーを回るほどのHIPHOPPERです。二〇〇四年から、京都でダンススクールを始め、初心者からダンススクールの生徒は、地域のお祭りに出演しており、上級者は、イギリスで行われる世界大会の予選が京都で四月に行われることもあり、世界大会の出場を目指して練習している生徒もおられます。今年度は予選に数百人のダンサーが参加し、世界大会には四十九人のダンサーが参加したと聞いています。毎週土曜日には日常会話とダンスを習うクラスもあり、アンソニーの想いは、ダンスだけでなく国際的に活躍してもらいたい。毎週木曜日の夜には、初心者の大人だけが集まるダンススクールのクラスもあるそうです。一度体験にいかれてはいかがでしょうか。

PVPダンススタジオ
【携帯電話】090-5678-1587 (担当：金山)
【メール】www.londondance.jp



カイロプラクター様

自身が頸椎ヘルニアで手がしびれたのがきっかけで、たまに友人がやっていたカイロプラクティックに出会った。惹かれるように、所属団体の「カイロプラクター」の資格を得たが、人を治したいと思ったことがない私が、人の体を触っていいのかというギャップを埋めるのに半年以上かかったそうです。先輩から技術・知識だけではなく、心(気持ち)が大切だということをお話する中で気づいていき、「私でもいいんだ」と気持ち切り替えられ、そこから私の「カイロプラクター」のスタートです。恩師につけて頂いたニックネーム「ナンシー」も心の支えだそう。また、ピンクリボンの活動もされており、カイロ仲間を通して女性のがん検診啓発に携わってられます。

口先だけではなく、心の底から感謝を込めて「ありがとう」という言葉を言えたら、自分の思いも相手に伝わるということを経験しました。縁あってまたまた出会ったカイロプラクティックとピンクリボンですが、自分の心を鍛えているそうです。根本治療であるカイロプラクティックを一度体験されてはいかがでしょうか。

まことカイロプラクティック 仲西真由美
【予約優先 (女性専用)】090-4563-0957

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10月
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	乙訓青年会議所
事務事項説明会	役員セミナー	青松会総会(候補日)	第二回理事予定者会議	FTセミナー	FTセミナー		第十回総務財政委員会	青松会総会(候補日) 四十周年特別委員会	防災教育委員会	第七回正副予定者会議			飛竹会臨時総会	第十回理事会	三LOMじやがいもコンパ	青松会(お稽古) JCネットワーク構築委員会							十月例会 JAYCEE 育成委員会	会員拡大会議	文化少年団	第一回理事予定者会議	第一回臨時総会	第十回正副理事長会議	広報戦略委員会	まちづくり実行委員会	
							松山JC茶道同好会発会式	第二回乙訓駅伝委員会総会																							行政・他団体

次回例会案内

十月例会では、「出向先で得た成果や魅力をL.O.Mメンバーが理解し、次年度以降の活動意欲に繋げる」ということを目的として開催致します。第一部では「出向という学び多き機会」を理解して頂き、委員会発表で出向先の委員会や役員、乙訓青年会議所との比較をして理解を深めます。そして、本年度の出向者に出向したことによる気付きや自身の変化を話して頂きます。その後、委員長からのビデオレターとして出向先の委員長より出向者に向けてメッセージを流します。第二部では、「出向の魅力と自己成長」をテーマに近畿地区協議会、京都ブロック協議会で会長を務められた張本昌義先輩をお招きして、ご講演頂きます。実体験をもとに自己成長には何が重要であるかを知り、意欲的な活動に繋がるご講演を頂きます。最後にエンディング映像で出向先での見えない活動を紹介します。

【日時】十月八日（火）一八時登録開始
一八時三〇分～二二時
【場所】長岡京市中央生涯学習センター
三階メインホール

卒業生主催委員会対抗ゴルフ

九月十九日（木）大津カントリークラブ西コースにて、公益社団法人乙訓青年会議所の二〇一九年度卒業生設えの委員会対抗ゴルフが開催されました。委員会毎のチームに分かれ和気藹々とした雰囲気でのゴルフというスポーツを通じて絆の構築が図られました。後の懇親会では表彰式があり、チーム対抗戦の部ではJCネットワーク構築委員会、個人戦では吉田委員が優勝されました。卒業予定者の三浦理事長、崔直前理事長、大塚委員長、豊西副委員長、百々副委員長、草場委員、近藤委員、佐々木（真一）委員、新庄委員、松本委員、益田委員、宮下委員、忙しい中で準備されたこの事業はメンバーの絆が深まる本日に素晴らしい一日となりました。



ギャンブラーズ

九月八日（日）近畿地区JC野球大会が橿原の地で開催されました。乙訓ギャンブラーズは一試合目でエース大塚君の好投もあり、無事に神戸JCに勝利することができました。二試合目は宿敵大阪JCとの対決で、ギャンブラーズ打線爆発で激闘の末に勝利を収めることができました。決勝戦では、ご当地LOM榎原JCとの対決となり、トリプルヘッターの疲れを隠し切れず残念ながら負けてしまいました。応援をして頂いた方々、ご設営をして頂いた方々本当にありがとうございました。来年の全国大会出場に向けて、そして全国優勝に向けて再度チーム一枚岩となり練習を続けて参ります。



今月のコレ！買いました！

正会員メンバーが今月買ったモノからその人となりを知るコーナーです。今月は四十周年特別委員会の森麻美さんです。

【最近買ったモノ】パーソナルカラーに基づいた自分に合う赤色の洋服
【なぜそれを買いましたか】イベント主催の為華やかにしたくて。自分の華やかさを一番表現してくれる色がこの色なのでこの服を買いました。赤は赤でもこの赤色の服がなかなか無いので探すのが大変でした。



森さんありがとうございます！先日の九月例会でめでたく入会された森さんは、一つの仕事に捉われないことと多くの仕事にチャレンジし、成果を出されています。自分の見せ方、見え方をしっかり研究し、その時々に合わせて自分をプロデュースすることでさらにチャレンジの枠を広げていく。女性ならではのきめ細やかな気遣いや明るい雰囲気乙訓青年会議所をまた新しいカラーに染めてくれることを期待しています。

森 麻美 もりあさみ Profile
所属：四十周年特別委員会
仕事：外見プロデュース業、イベント関係
趣味：人と会う事、イベント参加、お酒
特技：何でもチャレンジすること
利腕：右
血液型：O型
好きな食べ物：お肉、お寿司、チーズ

乙訓イベント情報

竹の里・乙訓物産展
+KARAAーグランプリ2019
京都府向日市にある京都向日町競輪場では、今年で4回目となる「竹の里・乙訓物産展+KARAAーグランプリ2019」が十月二十日（日）に開催される。

今年からは激辛グルメ日本一を決定する「KARAAーグランプリ2019」もイベントに加わり、辛くて旨い激辛料理も楽しめる。

同イベントでは、物産展に四十店、KARAAーグランプリ2019に四十店、計八十店が出展。物産展は、乙訓地域の食べ物（竹の子ごはんやお寿司）や物産（竹細工など）を販売する。

さらに、乙訓地域には国史跡の「乙訓古墳群」があり、古墳群のPRや古墳グッズの販売、竹細工のワークショップなど、乙訓地域ならではのイベントが目白押し。

開催概要

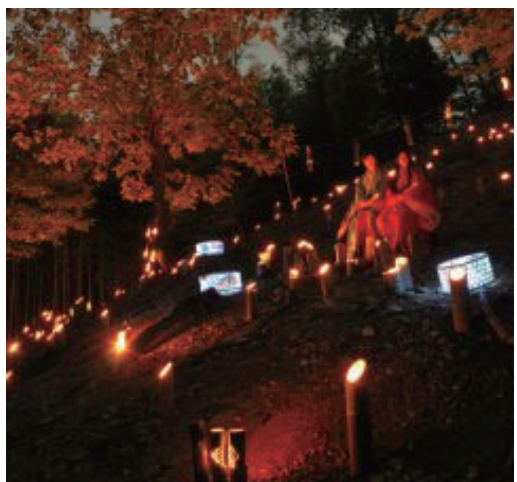
会場：京都向日町競輪場
住所：京都府向日市寺戸町西ノ段5
電話：075-956-4600（乙訓商工・観光協議会）
時間：2019年10月20日（日）10時～16時
駐車場：あり（約800台）
交通：阪急東向日駅より徒歩15分、JR京都線向日町駅より徒歩20分
※阪急東向日駅、JR向日町駅から無料シャトルバス運行

引用：関西ウォーカー
<https://00m.in/IKDfA>

開催概要

会場：竹の径、第6向陽小学校、京都市洛西竹林公園
住所：向日市寺戸町芝山～物集女町長野、中海道地内
電話：075-963-6504（向日市観光協会）
時間：2019年10月13日（日）
駐車場：なし
交通：JR京都線桂川駅、阪急京都線洛西口駅からバスで「向日回生病院前」下車、徒歩10分
JR京都線向日町駅、阪急京都線東向日駅からバスで「東山」下車、徒歩10分

引用：京都府観光ガイド
<https://00m.in/1sOtb>



竹の径・かぐやの夕べ
水を張った竹筒約1500本以上に水ろうそくを浮かべ、竹の径を照らし出し、幻想的な雰囲気をお楽しみいただけます。

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で開催されるイベントをご紹介します。

ほぼ毎月お楽しみ頂いている「やすしさんぽ」ついに今月は向日市へやってきました。向日市といえは桜の名所である「向日神社」や「京都向日町競輪場」など、あちこちに多く見所がありますが、特に最近では年一度、激辛グルメ日本一が決まる「KARAIーグランプリ」がかなりの盛り上がりを見せております。

前述の「京都向日町競輪場」で行われた昨年の来場者数はなんと十一万人！今年も十月二十日に同会場で開催される予定です。

そんな「京都向日町競輪場」から東側の住宅地を抜けて少し歩いた場所が「長岡宮跡」です。桓武天皇によって、かつて奈良の平城京から京都の平安京に都が移される間に約十年間

やすしさんぽ

～乙訓地域の魅力探訪～

三浦理事長が乙訓地域を中心に、自分たちの町の魅力を再発見し読者の皆様にも町の魅力を再認識して頂けるよう、不定期ではありますが配信させていただきます。



あったとされる都「長岡京」。日照りによる飢餓や疫病の大流行、水害、皇后や桓武天皇近親者の相次ぐ死去など様々な変事が起こった結果、都はたつた十年で現在の京都市内の平安京へ移されてしまいましたが、現在の長岡京町にある三川合流（桂川・宇治川・木津川）のおかげで全国からの物資が集まりやすく、また都周辺に暮らす人たちが豊かな水の恩恵を受けられると考えられ、平城京の地理的弱点を克服しようと考えられた都市だったとのことです。

近年までは「伝説の都」とされてきましたが、中山修一京都文教大学名誉教授を中心とした発掘調査が進み、平城京や平安京とならぶ大規模な都であり、建物等も平城京から移築されたため、大部分が完成された都であったことがわかりました。

その長岡京の中心部である大極殿（桓武天皇がいた場所）は長岡京市ではなく向日市にあるのです。これは乙訓地域にお住まいの方はよくご存じの話なのですが、乙訓地域外のお



お客様に話をするといつもびつくりされて話が盛り上がり、商談にも繋がったことがあるという事で、三浦理事長はこの長岡宮跡を乙訓地域有数のパワースポットとお考えのようです。

久しぶりに訪問するとタッチパネルで向日市のイベントやお店情報がわかる案内板が設置されており、桓武天皇の時代には日本の中心を司る場所でのタッチパネル操作に感慨深い三浦理事長でした。

そこから更に東へ阪急電車とJRを超え、一七号線にぶつかる手前に向日市民ふれあい広場・向日市民体育館があります。この向日市民ふれあい広場は毎年乙訓二市一町の小学生たちが大山崎小学校からタスキをつなぐ「乙訓ふるさとふれあい駅伝大会」のゴールとなる場所、となりの「向日市民体育館」では毎年表彰式が行われます。向日市民体育館はバスケットボール・バレーボール・室内テニス・バドミントン等の設備は当然として、オリンピックでメダルの期待のかかる競技の一つで



その後、三浦理事長の小学校、中学校時代の同級生の「レギュラー」の「松本康太」さんが里帰りしているとのことで、所属事務所様の了解を得て取材させて頂きました。

一連の騒動の話はさておき、現在、松本さんが

もある体操競技男女十種目や新体操のマットまでも備えています。偶然にも訪れたこの日は、体操の大会前日で多くのオリンピック代表候補者達が設営の準備などをしており賑やかでした。館内は空調が完備されており、とても立派な体育館で改めて感心させられました。この体育館の中にも「歴史文化交流センター」があり、長岡京や向日市の歴史が学べます。

乙訓新聞

OTOKUNI News Paper
2019年9月号

- コンテンツ
- やすしさんぽ
 - 例会報告
 - 次回例会案内
 - まちづくり実行委員会
 - 理事選挙投票結果
 - ギャンブラーズ
 - 会員募集
 - 今月のコレ！買いました！
 - 乙訓地域諸団体紹介
 - イベントカレンダー

OTOKUNI JCI official homepage

facebook

Instagram



NPO法人 いきいきネット様

NPO法人 いきいきネット様は二〇一二年に、超高齢化社会が進んでいく中で、高齢者が住み慣れた地域で、住み慣れた自宅で、安心して暮らせるための互いの助け愛、見守り愛のネットワークづくりと生き甲斐づくりを目的として活動されています。活動は大きく二つに分かれており、一つ目は元気な高齢者は何時までも元気という事で、いきいきサロンという名前で月一回くらいのペースで約二〇名の方が参加されて色々な創作作品を作ったり、地域のイベントに参加して、焼きそばやおでんなどのお店を出店したりといきいきと活躍されています。二つ目は地域支援の活動として介護保険ではカバーし切れないサービスの提供ということで、庭の手入れのお手伝いや電球の交換、ご飯の準備など色々なことをされています。九月十四日（土）十三時三十分から「安心暮らし」というイベントが開催されます。テーマは地域での自助共助の仕組みということで、代表である山田さんが講師として地域での繋がりの再構築についてお話しされます。場所は久貝公民館ですので、是非ご参加下さい。

NPO法人 いきいきネット

〒617-0837 長岡京市久貝2丁目2番9号

TEL/FAX: 075-754-8823

電話: 090-4909-7337

メール: k.yamada0124@hotmail.co.jp

AKクラブ様

AKクラブさんは主に高齢者支援・障がい者支援・子育て支援を中心に取り組んでおられますが、今ではその中の子育て支援として始まったヒップホップダンスの活動の範囲が広がり、地域の活性化としてお祭りのステージに参加されたり、地域の団体さんのイベントで踊ったりしておられます。ただダンスをするだけではなく、親御さんにも参加してもらって児童と親の健全な関係づくりも一つのテーマとして取り組んでおられます。現在は四歳から高校三年生までが中心に練習に励んでおられ、各世代にクラスを分けて月三回（原則として第一・二・三火曜日）バンビオ一番館でスクーブルを開催されています。参加費は月三〇〇〇円とその他初期費用などもありますので、ご興味のある方は是非お問い合わせ下さい。一緒にダンスを通じて絆づくりをしましょう。

今年九月十五日に乙訓DREAMフェスタ・十月二十日にサポセンフェス・十一月十日にガラシャ祭りに参加されます。



AKクラブ

AKクラブ代表: 武田 悦子さん

TEL: 075-953-5573

AKJ指導者: TOMOさん

スタッフ: ERIKAさん

HP: http://akclub.jimdo.com/

9月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	
乙訓青年会議所	文化少年団 第二回正副予定者会議	会員拡大会議	広報戦略委員会	第九回正副理事長会議	第三回正副予定者会議	JAYCEE育成委員会						第九回理事会	第四回正副予定者会議	ドリフェス事前準備	九月例会・四十周年記念事業 まちづくり実行委員会		青松会（お稽古） JCネットワーク構築委員会		委員会対抗ゴルフ	FTセミナー事前説明会				防災教育委員会 第五回正副予定者会議 歴代理事長会 四十周年特別委員会	第九回総務財政委員会					第六回正副予定者会議	
行政・他団体																															

乙訓 DREAM フェスタ 2019

2019年 9月15日
11:00~16:30
向日町競輪場 第4駐車場
駐車場 120台

乙訓を1つに繋ぐロゴをみんなで考えよう！
詳細は裏面で！



ダンス
シンガーソングライター
習字パフォーマンス
盛りだくさんの
ステージイベント

様々なスポーツ体験ができる
スポーツゾーン

ふれあい・つながりゾーンで
泡合戦

更衣室完備
着替えをご持参下さい

地域諸団体や
飲食店など、たくさんの
ブース出展

わんぱく自転車レースで
BMX体験

11 住み続けられる
まちづくりを

17 パートナースHIPで
目標を達成しよう

後援：大山崎町、大山崎町教育委員会、長岡京市、長岡京市教育委員会、向日市、向日市教育委員会

公益社団法人乙訓青年会議所 事務局：京都府長岡京市開田3丁目10-16 長岡京市立産業文化会館2階
TEL(075)957-1230 E-mail otokunij@mediawars.ne.jp



八月例会・キャンプ

八月三日(土)、四日(日) 八月例会は天王山夢ほたる公園、乙訓文化少年団キャンプ事業は桂自衛隊、青葉山ろく公園にて開催されました。八月例会では、近年多発する災害により、防災が地域の課題となっている今、乙訓地域を安心して住むことができる「生き抜く力」を備えた強いまちにする必要がある、防災教育への意識向上から、後に開催する防災をテーマとしたキャンプ事業を成功させるという気持ちを一丸とすることを目的として、開催しました。その中で、乙訓地域において災害の危険性について説明があり、メンバーの危機管理能力を備える意識を醸成する一助になったと考えます。また、メンバーに防災の必要性を伝えたことで、防災知識が減災に繋がると認識し、子供たちへ防災教育を行う意識の向上へと繋がる一助になったと考えます。そして、後に行われた乙訓文化少年団キャンプ事業において、桂自衛隊の皆様にご協力頂きまして、防災に携わる講習をして頂き、子供から大人まで学ぶことができた貴重な時間となりました。キャンプ事業では、団員の子供たちに日頃生活している場所を離れ、自然の中で一泊のキャンプをして頂き、団体行動の規律を学ぶ機会を創出し、団員同士で夕食やキャンプファイヤーを通して、楽しさや喜びを感じて頂いた時間になったと考えます。



次回例会案内

【開催場所】向日町競輪場 第四駐車場

まちづくり実行委員会

八月六日(火)長岡京市中央生涯学習センター六階創作室にて第六回まちづくり実行委員会が開催されました。九月一日(日)に開催される四〇周年記念事業・乙訓 DREAM フェスタに向けて事前説明会が行われ、緑日ゾーン、飲食店ゾーン、地域諸団体・企業ゾーンの注意事項の説明や各委員会、地域諸団体、ボランティアが行う役割の説明等が行われました。多くの地域諸団体様にも参加して頂き、当日の情報を共有できた事前説明会となりました。



理事選挙

七月二十六日(金)、八月二日(金)に理事選出選挙が執り行われました。開票結果、今井政樹君、下戸一晃君、坂元陸君、嶋田剛士君、林哲司君、山城直也君の六名が役員選任に関する規定に基づき二〇二〇年の理事予定者として選出されました。

ギャンブラーズ

七月三十一日(水)長岡京市立スポーツセンターにて、来たる九月八日の近畿地区大会に向けて練習を行いました。夜にも関わらず蒸し暑い中、OBの方々と現役メンバー交えて打撃や守備の確認などをし、紅白戦をしたことでより一層士気が高まったとともに、野球を通して交流を図ることができました。近畿地区大会では皆様、応援宜しくお願い致します。



会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を三信条として様々な活動を行っている集まりです。地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味ございます方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(075-957-1230)までご連絡ください。お待ちしております。

今年度入会者数 2名 正会員 68名

今年度35名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります。

今月のコレ！買いました！

正会員メンバーが今月買ったモノからその人となりを知るコーナーです。今月は四十周年特別委員会の山中拓哉君です。

Q 最近買ったもの：
A 本「学びの結果を変えるアウトプット大全」
Q 何故、それを買いましたか？
A 学びのために本をよく読むのですが、アウトプットすることの重要性への知識を深めたいと思っていました。
その中で興味深かったのが、アイデアが生まれやすい「創造性の四B」というものです。それは「Bathroom(入浴中)」「Bus(移動中)」「Bed(就寝前後)」「Beer(お酒)」です。
どなたか私とお酒を飲み、散歩し、お風呂に入り、寝てくれませんか？(経歴・男女不問)



山中君ありがとうございます！インプットするだけではなくアウトプットすることで、自他ともに成長しようとする前向きな姿勢を見せてくれた山中君。四B友達が多く見つかることを願います。色々なアイデアを形に変えて、社業やJC活動などでも結果を出してもらえればと思います。

山中拓哉 やまなかたくや Profile

所属：四十周年特別委員会
仕事：不動産・建築
趣味：おいしいもの食べる
特技：早寝
利き腕：右
好きな食べ物：グラタン



「乙訓地域である場所」...

やすしさんぽ

～乙訓地域の魅力探訪～

三浦理事長が乙訓地域を中心に、自分たちの町の魅力を再発見し読者の皆様にも町の魅力を再認識して頂けるよう、不定期ではありますが配信させて頂きます。

今月の「やすしさんぽ」は先日の七月例会で、広報戦略委員会が乙訓地域にお住まい又はお勤めの方400名に行った街頭アンケートで「乙訓地域である場所」...

「フルール」さんでお腹も気持ちいいくらいに、なり次は「恵解山古墳(いげのやまこふん)」へ。堺市の「大仙陵古墳(仁徳天皇陵)」が世界遺産登録されるという空前の古墳ブームの中、乙訓にも「乙訓古墳群」と呼ばれる多くの古墳が点在しています。

創業からずっと店を切り盛りされている女将さんとお話しさせて頂きました。お話の途中でもお客様への気配り、目配りが素晴らしく大変勉強になりました。

つづく



恵解山古墳を後にし、勝竜寺城へ。勝竜寺城は「麒麟が来る」の明智光秀の娘・玉(後の細川ガラシャ)が細川忠興に嫁入し、新婚時代を過ごした城として知られています。

「前方後円墳」で一体誰のために作られた墓なのか？は記録に残っていませんが、約一六〇〇年前、古墳の大きさから少なくとも乙訓全域を支配した支配者の墓であったと考えられているそうです。

乙訓新聞

- やすしさんぽ
例会報告
次回例会案内
まちづくり実行委員会
文化少年団
理事長監事選出委員選挙
近畿地区大会
サマーゴルフアレンス
会員募集
今月のコレ！
乙訓地域諸団体紹介
イベントカレンダー

OTOKUNI JC official homepage
facebook
Instagram
QR codes for each platform

『海ならずたへる水の底までも清き心は月ぞてらさむ』
境内の傍らに掲げてある道真公が読んだ句に「グッとくるものがあるな。」と何かを感じた三浦理事長でした。



おもてなしウィークは「まちまるごと文化祭」をテーマに二〇〇八年に設立されました。二〇一五年より企画・運営が商工会から有志の「実行委員会」に移行され現在は七名のメンバーで活動しております。

おもてなしウィーク
連絡先：代表 井幡 和幸
メール：ki596319@yahoo.co.jp
電話：080-3118-9018



大山崎町子育て母の会コムズママは、二〇一〇年に設立された団体で「ママたちのリサイクル&手作り市」というものを不定期ですが毎年開催しております。

大山崎町子育て母の会コムズママ
連絡先：代表 木戸
メール：comme_zu_mama@yahoo.co.jp
電話：090-8480-7800 (平日9時～14時)

乙訓地域諸団体紹介

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で活躍されている団体をご紹介します。

Calendar table with columns for dates (31 to 8) and events. Includes '乙訓青年会議所' and '行政・他団体' columns.

七月例会

七月十一日(木)長岡京市中央学習センター三階メインホールにて、七月例会を開催致しました。七月例会では、地域市民が求める情報から、乙訓青年会議所の認知度向上に繋がる効果的な広報手法を見出すことを目的として三部構成で事業を行いました。第一部では、講師に水野裕氏をお招きし、「マーケティングの重要性」をテーマにマーケティングの歴史から概念を教えて頂き、マーケティングが十分機能していれば売り込み型セリングの日常努力は大幅に軽減され、乙訓青年会議所が価値を生み出すことでイノベーションを行うことの重要性をお話しして頂きました。第二部では、今年の広報戦略委員会の活動内容を草場委員から発表して頂きました。今年の特徴と致しました。インスタグラムのフォローワー拡大に注力し、去年の約十倍の六百五十四人となっております。「地域が求める乙訓青年会議所」と題し、街頭アンケート、Webアンケート、地域諸団体様、合計四百のアンケート結果を石井委員から発表を行いました。アンケートの一つで乙訓青年会議所が行っている事業は、私たち広報戦略委員会では、乙訓ドリームフェスタが一位と考えていましたが、男性は、まちづくりに関する講演会、女性では、自己啓発に関する講演会が一位でした。私たち広報戦略委員会では、アンケート結果を踏まえて乙訓青年会議所がどのように広報活動していくのかを考えた結果、ゆるキャラを作り、インスタグラム、SNS世代の二〇代から五〇代のターゲットに向けて広報していくことを考えました。第三部では、「乙訓青年会議所の広報戦略」と致しまして、各



近畿地区大会

七月六日(土)、七日(日)の二日間に分けて京都府亀岡市のJR亀岡駅北広場において、公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会の事業である「近畿地区亀岡大会」が開催されました。今年度、近畿地区大会では、「来て！見て！感じて！JOY to KINKI」をスローガンに掲げ、誰もが輝ける幸せな近畿の実現に向けて開会されました。乙訓青年会議所からは委員として、平木副委員長、草場委員、中野委員が幸せな近畿確立委員会へ出向しております。式典では、次年度近畿地区大会を運営する主幹LOMである彦根青年会議所への「大会キー伝達式」も執り行われました。フェスタでは、一日目はストーリートミュージシャンライブ、二府四県ステジパフォーマンズが行われ、JOY to LIVEに鈴木亜美のライブやユース食器を使った多くの飲食ブースが出店され最後は夢打ち上げ花火による感動の



委員会にアンケート結果を踏まえて乙訓青年会議所の事業の認知度を把握し、地域の方々がどのような事業に興味をもっているのか考えて頂き、自らの事業にどのように広報するのかをグループワークで考えて頂きました。委員会メンバーも各委員会のグループワークに参加し、地域、興味、場所事業を考えて頂いた広報戦略を発表して頂きました。発表では、ラインアット、ユーチューバーを乙訓青年会議所から輩出するという新たな内容もあり、様々な広報手法を発表して頂く場となりました。発表内容について水野裕氏から総評として頂きました。七月例会で、乙訓青年会議所の認知度、マーケティングの重要なことを考えることでメンバーにとつて効果的な広報手法を見出す一助になったと考えます。



次回例会案内

八月例会では、近年多発する災害により防災が地域の課題となっている今、乙訓地域を安心して住むことができる「生き抜く力」を備えた強いまちにする必要があると考え、防災教育への意識向上から、後に開催する防災をテーマとしたキャンプ事業を成功させるという気持ちを一丸とすることを目的として開催させて頂きます。

【日程】二〇一九年 八月 三日(土)
【時間】八時〇〇分～八時五五分
(登録開始 七時三〇分)
【会場】天王山夢はたる公園

まちづくり実行委員会

七月二日(火)長岡京市中央生涯学習センター六階にて、第五回まちづくり実行委員会が開催されました。多くの地域諸団体様と、九月記念事業・乙訓ドリームフェスタに向け、乙訓ドリームフェスタに向け、乙訓DREAMフェスタまちづくり実行委員会のブースについて、各出店されるブースの内容について意見交換をしました。また、全体の流れの説明も行われ、地域諸団体様との共有も図れた大変有意義な時間となりました。



次回開催のご案内
【日程】二〇一九年 八月 六日(火)
【時間】一九時〇〇分～二〇時三〇分
(登録開始 一八時三十分)
【会場】長岡京市産業文化会館一階

文化少年団

七月一日(月)長岡京市中央生涯学習センター六階創作室一にて第四回文化少年団を開催致しました。今回は「家庭」「子ども」等、様々な場面を想定して防災教育について取り組んでおられる「フェマル プラットホーム」様に協力頂きまして、独自ゲームである「くつはいた」のボードゲームを実際に行いました。二人一組となり四組対抗型ゲームあり、様々な環境下、災害時に七時間靴をはいて脱出するゲームです。緊急時に何を手にもって逃げるかを学習でき、その手にしたもの環境によって大きく左右されることや、防災に対して子供たちの学びに繋がる内容となりました。次に子供たちは班に分かれて、適当な大きさの段ボールを組み合わせて、段ボールベッドを作成しました。作成時に子供たちだけでどうすれ

フィナーレとなり、二日目はNIGHT WINGSステージイベントやSPライブのENTERKINGでは大盛り上がりとなり、七夕にちなんで十九時七分に会場の皆を巻き込み水辺で乾杯やプロジェクションマッピングと七夕の夜にスカイランタンというボリュームたっぷりの思い出に残る近畿地区亀岡大会となりました。



サマーコンファレンス

七月二十日(土)から二十一日(日)にかけて日本青年会議所の「サマーコンファレンス二〇一九」が横浜の地で開催されました。各界を代表する著名な講師をお招きして政治・経済・社会等、様々なジャンルのフォーラム・セミナーが行われ、多くの乙訓青年会議所メンバーが出席しました。そ



会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を三信条として様々な活動を行っている集まりです。地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味ございます方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(075-957-1230)までご連絡ください。お待ちしております。

今年度入会者数 2名 正会員 68名

今年度29名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります。

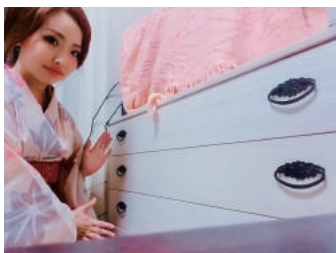
の中で、価値デザイン会議には田中監事、百々副委員長、小野委員、山中委員、佐伯委員、多子社会創造委員会には達城監事、新庄委員が出向しており、それぞれ、「価値デザインサミット」SDGs×ビジネス、「日本を変える成長戦略」SDGs×社会モデル」と題し、素晴らしいセミナーが設けられました。また、ロムナイトでは次年度理事長予定者の発表があり、達城次年度理事長予定者が次年度への熱い想いを表明されました。乙訓青年会議所では、毎年サマーコンファレンスのロムナイト(乙訓青年会議所の各事業後の懇親会)で、選挙により厳正に選定された理事長・監事選出委員が選出した次年度理事長予定者を発表することが恒例となっております。



今月のコレ！買いました！

正会員メンバーが今月買ったモノからその人となりを知るコーナーです。
総務財政委員会の岡田沙也さんです。

最近買ったもの：和タンス
なぜそれを買いましたか？
祖母の形見分けで形見の着物物を沢山もらって、保管する場所に困っていたら、母が和タンスをくれました。



岡田さんありがとうございます！古き良き京都の着物文化を大切に、肩肘張ることなく、カジユアルに楽しむ。また親子の繋がりを大切に生かす。職場でもJCも、楽しい雰囲気を提供する岡田さんからはどんな時でも自分が楽しみ、人との繋がりを大切にするという姿勢が伺えました。これからのJC活においても、先輩方が築き上げてこられたことを継承した上で、大いに楽しんで頂きたいと思っております。

Profile

岡田 沙也

名前：岡田 沙也
所属委員会：総務財政委員会
仕事：祇園シロン
趣味：モンハン、ゲーム
特技：特になし
利腕：右
血液型：O
好きな食べ物：パクチー



ばいサイズのベッドができるのか話し合いながら作成し、また筋交いがあることで強度が大きく違うことも実証し、楽しく学べる内容になりました。

乙訓地域諸団体紹介

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で活躍されている団体をご紹介します。

行政・他団体

たけの子育て 佐竹 幸子様

たけの子育て様は、平成二十五年母子会（母子家庭や寡婦の人が子育てや生活などの悩み事を話し合ったり、また困った時に励まし助け合ったりお互いの幸せを高めるためにつくれた会。）の夏休みの子供の居場所をつくるために始められました。正式名称は、ひとり親居場所実行委員会です。「竹の子育て」は体験を主にしています。春は苜蓿りをしてタケノコご飯を作る。夏はキャンプ、バーベキュー。秋は放置竹林の整備。冬は竹を使ったおもちゃを作るなど一年を通していろいろな活動に取り組みられています。活動して楽しくていいこと、いろいろなものを作り終えた後の子供たちの満足した笑顔を見ることだそうです。ひとり親のご家庭は、一人っ子が多いので、人との関わりが少なく、子どもが、子供同士の関わりは精神衛生上とても良いと思われま。この会に参加してよかったと言ってもらえるように、そして十年二十年続けていけるように（橙色）のシンボルカラーで活動してられます。一般世帯の半分の収入で生活されている方が多く、「子供たちにはひとり親だからできないというようには思わせたくない。そしてその負の連鎖を断ち切りたい。楽しいことを一つでも二つでもさせてあげたい。お母さんも精神的に安定してほしい。」とおっしゃっています。共同募金のテーマ型募金の制度で活動されています。ぜひ募金にご協力ください。



ミナソラノシタ 林リ工様

設立のきっかけは、平成二十四年、まこと幼稚園おひなプロジェクトが開始され「目に見えない放射線の恐怖と闘いながら、子供たちのために日々頑張っている幼稚園の先生にリフレッシュしていただきたい」という想いで、福島県郡山市の幼稚園の先生を京都に招き、その支援を継続的なものにしたとボランティア団体を立ち上げられました。活動としては、オリジナルグッズの販売や講演会「チエルフイリから学ぶこと」を開催していただけます。また、期幼稚園留学という活動をしてもらえ、子供たちは三週間京都の幼稚園に通園し、自然に触れ合いながら思いきり外遊びを楽しみます。母親は放射線量を気にしながら生活するストレスから解放され、リフレッシュすることが出来ます。最大の目的は、福島の母子と京都の母子・地域の方々が友達になることです。「京の公共人材大賞」という賞があり、京都府に貢献した人の中から八名しか選ばれない最優秀賞に選ばれておられます。お母さんがやっているボランティアが社会を変えるという意気込みで活動しておられ、十月二十二日長岡京市中央学習センター三階メインホールで、なぜ幼稚園留学が必要なのかを、松本市長菅谷昭様をお招きしての講演会が行う予定です。メンバーと苦楽をともにしている幸せ。たくさんの方が協力してくれている。福島に大事な友達が出来た。「京都のみなさん」に感謝していますと喜んでおられました。おっしゃっていました。



乙訓新聞

OTOKUNI News Paper 2019年7月号



コンテンツ

- やすしさんぽ
- 例会報告・次回例会案内
- まちづくり実行委員会
- JCI文化少年団
- 茶道同好会青松会
- 乙訓JCIじゃがいもカップ
- 国際ミッション
- 会員募集
- 今月のコレ！買いました！
- 乙訓地域諸団体紹介
- イベントカレンダー



OTOKUNI JC official homepage



facebook



Instagram

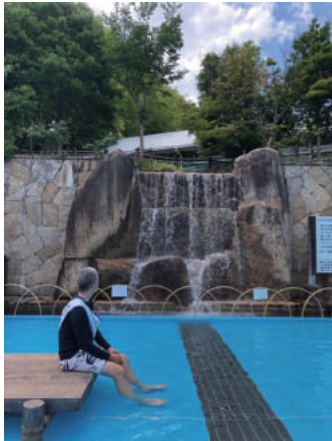
やすしさんぽ

YASUSHISANPO

～乙訓地域の魅力探訪～

三浦理事長が乙訓地域を中心に、自分たちの町の魅力を再発見し読者の皆様にも町の魅力を再認識して頂けるよう、不定期ではありますが配信させていただきます。

今回からついに長岡京市に突入です。今日は西山公園から光明寺周辺を歩いてみたいと思います。西山公園では地元の子供たちに大人気の「じゃぶじゃぶ池」に行ってみました。ご存じない方に説明させていただきますと、この「じゃぶじゃぶ池」は「池」でもなく「プール」でもない。大人にも子供にもちょうどいい深さ（一番深いところで大人の膝ぐらい）の人口の池なのです。あじく冬場は解放されていますが夏場はなんと無料で開放されています。訪問したのは平日の午前中だったので、私たちの他は二家族ほどしかおられませんでしたが、週末は多くの子供連れの家族で賑わっています。池のほとりは人工芝が敷き詰められており、シートやサンシェードなどを持ち込



んでのんびりとした時間を過ごすことができます。パラソルが常設されていてテニスコートや幼児用遊具もありません。西山公園から丹波街道を北に進むと「パッティングセンター西山」があります。こちらのパッティングセンターは四十年以上の歴史のあるパッティングセンターで、その間、乙訓エリアの野球の発展に貢献してこられました。あの甲子園春夏出場を果たした乙訓高校野球部のメンバーもこちらのパッティングセンターで汗を流して来るとのことです。三浦理事長も九月八日の「乙訓ギャングラーズ」の近畿地区大会に向けて快音を響かせていました。「パッティングセンター西山」のすぐ近くに、五年前に乙

西山公園には「じゃぶじゃぶ池」の他にも芝生広場や体育館の中にはトレーニングジムや幼児用遊具もあります。西山公園から丹波街道を北に進むと「パッティングセンター西山」があります。こちらのパッティングセンターは四十年以上の歴史のあるパッティングセンターで、その間、乙訓エリアの野球の発展に貢献してこられました。あの甲子園春夏出場を果たした乙訓高校野球部のメンバーもこちらのパッティングセンターで汗を流して来るとのことです。三浦理事長も九月八日の「乙訓ギャングラーズ」の近畿地区大会に向けて快音を響かせていました。「パッティングセンター西山」のすぐ近くに、五年前に乙



訓青年会議所が三十五周年記念式典を行った「光明寺」があります。光明寺は西山浄土宗の総本山であり、法然がはじめて「念仏」の教えを説いたとされる場所です。参道の両脇に植えられる沢山の紅葉は秋になると赤く色づき、とても綺麗な景観が楽しめます。総門の正面から本堂へ続く参道（おもてさんどう）は傾斜が緩やかで、女性でも参拝しやすいように設計されていることから、「女人坂（よになざか）」とも呼ばれています。最近では遠方からもバスで多くの観光客が来るなど、年々注目度が増しています。境内の立派な木々の木からパワーをいただいている気のみながる三浦理事長でした。光明寺をあとにし、続いて「社会福祉法人 乙の国福祉会障害者支援施設 光苑」へ行きました。ここへは二十年前のバイク事故で、重度の介護が必要になってしまった三浦理事長の同級生である塩谷徹君に会いに来ました。塩谷君は事故の影響で現在まで目が見えない状態が続いており、自分の力で立ち歩くこともままありませんが、



お買い上げ。豊富な品揃えに「ガーデニングに目覚めたしまうかも？」と終始笑顔の三浦理事長でした。

つづく



六月例会

六月十三日(木)長岡京市中央公民館三階市民ホールで、六月例会を開催しました。六月例会では、メンバー一人ひとりが青年会議所活動と社業をさらに関連付けて成長できるJAYCEEとなつていただくために、講師にSUNSHOWER GROUP代表 西岡徹人氏(公益社団法人岐阜青年会議所)をお招きし、青年会議所活動での意識変革による自己成長を社業の発展に繋げられた原体験についてご講演いただきました。JC活動を通して、考え方が変わり行動することで自己成長に繋がると、社業に落とし込むことで、「自己」と「自社」両方の成長をしてこられた講師の体験談は、正会員メンバーに一つの事例として参考にしていただくと同時に、青年会議所活動と社業の繋がりにおいての意識の変化やきっかけになったと確信しております。また、講演後、正会員メンバーから事前アンケートで得た「青年会議所活動と社業の関わりについての疑問や悩み」に関して、講師にアドバイスをいただき、正会員メンバーの今後のJC活動の一助としていただきました。その後、委員会毎にテーブルでメンバーの青年会議所活動に対する悩みや課題について話し合っていました。どうすればより良い活動に繋がると考えていただきました。最後に、社会課題を解決することで得られる価値こそが、青年会議所活動だけでなく社業の発展においても重要であり、日本青年会議所が推し進めているSDGsに関わっていくJAYCEEとして、「持続可能な開発目標」を考慮する機会となりました。



次回例会案内(七月例会)

乙訓青年会議所は様々な手法を用いて運動や活動の発信を行っています。地域の方々の認知度は充分とは言えない現状があります。認知度が向上する広報で、さらに多くの共感と賛同を得て地域から求められる組織となる必要があると考え、地域市民の求める情報から、乙訓青年会議所の認知度向上に繋がる効果的な広報手法を見出すことを目的として開催します。

【日時】
七月十一日(木)
十八時三十分～二十時〇〇分
【登録開始一八時〇〇分】
【開催場所】
長岡京市中央生涯学習センター 三階メインホール
【担当委員会】
広報戦略委員会

まちづくり実行委員会

六月四日(火)長岡京市中央生涯学習センター六階創作室一にて行われました。九月記念事業に向けて現段階での方向性を地域諸団体の方々と共有しました。また、会場内のブース配置の確認や出店ブース内容を皆で話し合う有意義な時間となりました。

【日時】七月二日(火)十八時三十分～二十時〇〇分
【会場】長岡京市中央生涯学習センター六階創作室一



茶道同好会青松会

六月十八日(火)、西村先生宅にて公益社団法人乙訓青年会議所茶道同好会青松会(以下、乙訓青松会)の六月お稽古が行われました。乙訓青松会では、乙訓青年会議所現役メンバーと卒業生で構成される会員が、茶文化を通じて、精神鍛錬や所作を学ぶ機会として月に一回お稽古を行っています。



来年二月には光明寺で行われている月釜を担当することが決まり、お客様に喜んで頂けることを当面の目標としてお稽古を行っています。「まずは何よりもお茶を楽しむことから始め、さらには作法やお菓子、お軸やお花に込められた意味を紐解き日本の文化を楽しめるようになり、心身ともに豊かな人格形成に役立つと思います。お茶をいただくだけでも結構ですのでお気軽にお越しください。」(乙訓青松会田中会長談)

【問い合わせ先】
乙訓青松会 事務局次長 平木 〇九〇一八五二八一五九五九

乙訓JCじゃがいもクラブ

六月五日(水)に第四十三回「乙訓」じゃがいもクラブ「ゴルフコンペが開催されました。三十三名の乙訓青年会議所の先輩諸兄と現役メンバーが参加され、猛暑日の中、和気藹々と楽しみながらゴルフをされました。年齢、性別問わずに楽しむことができるゴルフを通じて交流を図れた有意義な日になりました。また表彰式でも、新しい現役メンバーが記念品を受け取る機会などもあり、とてもよい交流の場となりました。



国際ミッション

六月十八日(二十一日)に韓国(済州島)の地において京都ブロック協議会事業「二〇一九年度国際ミッション in 済州島」を開催致しました。この事業は、私たちが身近に数多くいる外国人である近隣諸国の人々に対し、歴史や文化の違いから生まれる心理的な障壁を持っています。彼らと私たちが今以上に相互に信頼を育むことが出来れば、世界有数の国際都市である京都は、地域社会や地域経済の国際的な好循環を生む可能性があり、私たち一人ひとりが歴史や思想、文化の違いを越え、海外での出来事を自分事として捉えられる人材となつて、互いを認め尊重された対等な関係を生み出す必要があると考え、民間外交を通じて一人ひとりが外国人に対する心理的障壁を取り除き、積極的な交流から言葉の壁を越えて相互信頼を育むことを目的として開催されました。乙訓青年会議所からは坂元君が京都ブロック協議会国際交流委員会の委員長として、また、その他多くのメンバーが出向しています。事業内容は三部構成となっており、十八日に「意



六月 乙訓文化少年団

六月二日(日)第三回乙訓文化少年団六月事業として防災時に役立つ防災グッズ制作を長岡京市産業文化会館三階にて行いました。子供たち自ら経口飲料水を作成する等、また空のペットボトルを使用し、小さい灯が明るくなる工夫や新聞紙で作成するスリッパ等の防災グッズの制作を行いました。子供たちは被災時に身近な物を使用し、防災グッズが制作できることを学べた実り多い体験事業となりました。次回は七月十五日(月・祝)長岡京市中央生涯学習センターにて開催致します。今年度の乙訓文化少年団は各事業を通して、子供たちが乙訓文化少年団での新たな仲間との出会いや様々な体験での気づきや学びを通して、「生き抜く力」を育むことを目的として事業構築し、開催していきます。



JCカップ

六月九日(日)、舞鶴にある伊佐津川運動公園にてJCカップU-11少年少女サッカー大会の京都予選が開催されました。京都府内各地域から十一歳以下の少年少女が集まり、熱い試合を繰り広げました。乙訓地域からは長岡京サッカースポーツ少年団が代表として出場し、激闘の末、見事優勝されました。七月に行われる地区大会も頑張ってください。そして乙訓青年会議所から、設営に事務局次長として山城委員が、応援に達城監事、坂元委員長が駆けつけてくれました。



今月のコレ！買いました！

正会員メンバーが今月買ったモノからその人となりを知るコーナーです。今月は専務理事の小西光君です。

最近買ったもの：大型冷凍ストッカー
なぜそれを買いましたか？
弊社は牛乳配達を通してお客様の健康に御奉仕しております。そのため、配達される商品がお客様のお口に入るまで、しっかりとした品質管理と温度管理がされていなければなりません。そのサービスマンとして保冷材を沢山使用しますので、その保冷材を洗浄後、短時間で大量に冷凍させるために購入しました。



小西専務理事ありがとうございます！
音楽と乳製品とゆう組み合わせで異色を放つ小西専務の人柄は、その髪型にも如実に現れています。JC活動と社業に関しては熱を冷まさぬよう、引き続き熱く取り組んでいきたいと思っております！

会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を三信条として様々な活動を行っている集まりです。地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味ございます方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(075-957-1230)までご連絡ください。お待ちしております。

今年度入会者数 1名 正会員 67名
今年度29名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります。

Profile

安原 誠司
名前：小西 光
所属委員会：専務理事
仕事：乳製品の販売、配達、卸業務
趣味：ドラム、バンド、音楽制作、料理
特技：ブレイクビーツ、ビートボックス、ドラムルーディメンツ、メトロノーム合わせて裏拍で歩く。
利腕：右利き
血液型：A(父)B(母)のB型
好きな食べ物：餃子、パスタ

乙訓地域諸団体紹介

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で活躍されている団体をご紹介します。

行政・他団体

特定非営利活動法人おとくにパオ様

「おとくにパオ」は前身である「乙訓親と子の劇場」の二十一年間の活動後に地域の子供たちを対象にした、より開かれた活動をめざして、二〇〇〇年に特定非営利法人になりました。毎月行っている一つの山をお借りして、自然の中で思いっきり遊ぶ「はれザウルス」、高校生以上大人未満の仲間が集い、大人には出できないユニークなことを企画し、自分たちの力で一から作り上げる活動をしている「Piccol」子供お料理クラブ「ちゃんぼん」などの活動があります。大事にしていることは、子供が自分で主体的に楽しめること。嬉しい、悲しい、楽しいという感性をどれだけ育てられるか。初めて会う人にも楽しく遊べる、誰かと協力しないと達成できない経験など人とつながっていく勇気をもてる「生きる力」につなげていけるか。

子供たちの育ちに思いを寄せる大人たちが集まって、語り合い、時に悩んだり迷ったりしながら、今私たちにできることは何かを考え、子供たちと一緒に豊かで楽しい時間を作ろうと日々活動していらっしやいます。



特定非営利活動法人おとくにパオ

電話番号 075-955-4366

社会福祉法人あらぐさ福祉会様

向日が丘支援学校を卒業された生徒たちの進路を保護者が自分たちで職員を雇用して、国に制度がない中「共同作業所あらぐさ」を一九八六年に立ち上げられました。その後、京都府、長岡京市、向日市からの補助金があり、今も活動を続けておられます。「あらぐさ」とは、雑草という意味でたくましく生きていくシンボルです。理念は、「どんなに障害が重くても、乙訓でこの子を育てたい、暮させたい」と強く願う親たちが力を合わせて生み出しました。社会福祉法人あらぐさ福祉会は、その願いを引き継ぎ、発展させておられます。

あらぐさ福祉会のバザーを、長岡京産業文化会館を借りて、開催しています。さをり織、クッキーやジャムを販売しておられます。

一〇月五日には、あらぐさの後援会が、「あらぐさ広場」という催しを開催、踊りや、模擬店を毎年三〇〇名ぐらいの参加者がいらっしやるようです。

この地域の中で、障害者と健常者の理解が広がってほしいなと考えるおられます。



乙訓新聞

OTOKUNI News Paper

2019年6月号



コンテンツ

- ・ やすしさんぽ
- ・ 例会報告
- ・ 文化少年団
- ・ まちづくり実行委員会
- ・ 京都ブロック大会
- ・ 今月のコレ！買いました！
- ・ 乙訓地域諸団体紹介
- ・ イベントカレンダー



OTOKUNI JC official homepage



facebook



Instagram

やすしさんぽ

YASUSHISANPO

～乙訓地域の魅力探訪～

三浦理事長が乙訓地域を中心に、自分たちの町の魅力を再発見し読者の皆様にも町の魅力を再認識して頂けるよう、不定期ではありますが配信させていただきます。

とてどうあるべきか？また来るべき災害に対してどう備えるのか？を改めて考えさせていただく機会となりました。宝積寺から十五分ほど登ると「旗立松展望台」があります。この展望台は山崎合戦の時、豊臣秀吉が味方の士気を高めるため松の木に千成ひょうたんの旗印を掲げた場所とされており、眼下には淀川の流れ、大阪平野、京都盆地が望めます。また、「旗立松展望台」からすぐ近くの「青木葉谷展望台」からは桂川、宇治川、木津川（西から順）の三川合流部が望めます。展望台から五分ほど登ると「十七烈士の墓」があります。「十七烈士の墓」は「禁門の変」（1862年）の時、新選組との戦いに敗れ天王山中で自刃した隊長長真木和泉守以下十七名が眠っています。新政府樹立を夢見て革命を図ろうとし、後の時代に夢を託して散っていった幕末の勇者たちや、この地での戦いから一気にな天下統一まで駆け上った豊臣秀吉のことに想いを馳せると、ベテランハイカークの郭春生（かくしゅんせい）さんがお声がけいただきました。



（三浦理事長 以下、「三」）こんにちは。天王山にはよく来られるのですか？
 （郭さん 以下、「郭」）はい。先月ちょうど五十回登頂ということで天王山をまわる会からこのような賞状をいただきました。
 （三）五十回はすごいですね！私は恥ずかしいながら天王山に登るのは二十年ぶりぐらいです。でも久しぶりの山歩きはとても気持ちがいいですね！
 （郭）健康にもいいですし、毎週この天王山のコースで出会うお年寄りから幼稚園くらいの子供さんまで、多くの世代の人たちとこうやってコミュニケーションするのが今はとても楽しいです。
 （三）毎週とはすごいですね。私も是非見習いたいと思います。ありがとうございます。



おり、初詣や神幸祭」の二年に一度の神輿の巡航など多くの地元の方々との縁の深い神社でお酒の神様とも言われています。また本殿横にある「神輿庫」は「板倉形式」という厚さ十四cmの厚板を積み上げた非常に珍しい形式で、国の重要文化財に指定されています。同じ形式で重要文化財に指定されているものは、奈良の「春日大社」にあるものが唯一とされていますがそれは江戸時代のもので比較的新しく「酒解神社」のものは鎌倉時代前期のものとして知られています。「酒解神社」から約五分で天王山山頂です。この山頂には広場があり、かつてはここに「山崎城」が建てられ大山崎は城下町として豊臣秀吉から守られていました。「山崎城」は「大坂城」の築城が本格化する前取り壊されたとのこと。宝積寺から「天王山山頂」へ登ってきた方向とは逆方向に降りると「小倉神社」や「柳谷観音」に繋がります。そこで神秘的な池を発見しました。調べると、この池は「龍神の池」と呼ばれておりその昔、干ばつに苦しむ村人たちを見かねて龍神が降り立ったとされています。また、おそらくこの池あたりが「山崎の水」の源泉であろうと言われています。龍神の池からさらに二十分ほど下るといよいよ山道も終わり「小倉神社」に到着です。「小倉神社」は奈良時代初期に創建されたと考えられており、山崎合戦の時には豊臣秀吉が家臣を遣わし戦勝を祈願し勝利を収めたと言われています。大切な勝負の前にお参りをするとその勝負に勝ると信じられているパワースポットとも言われています。小倉神社からその先は遂に長岡京市に突入です。

つづく

今日は前回ご紹介させていただいた宝積寺から天王山の山頂を目指します。また、全国的にも有名な「山崎の水」の源泉と言われる場所が天王山の山頂付近にあると聞いたのでそのあたりも現場調査したいと思っています。宝積寺から天王山山頂（標高約二百七十七メートル）へは約五分で登山道も整備されているため、お年寄りからお子様まで気軽に楽しめるハイキングコースとなっています。このハイキングコースはつい最近までは昨年の台風の影響から一部通行禁止となっていました。地元の皆様やボランティアの方々との協力で全面開通したことです。それでもまだ昨年の台風爪痕が多く見られ、自然の強大な力を実感すると同時に、災害時に地域の青年会議所

五月オープン例会

五月八日長岡京市中央生涯学習センターにて「生き抜く力」を備える防災をテーマにオープン例会を開催しました。まず、コミュニティ・エンバワメント・オフィスF.E.E.L.D.O代表 兼 兼原英文氏に防災を日常に取り入れる大切さ等を講演頂きました。

兼原英文氏は地域を良くする活動のサポーターとして、防災、福祉、市民活動、まちづくり、災害支援などに取組む北海道、秋田、宮城、東京、大阪、和歌山、鳥取、沖縄の九名の研究員とともに、全国各地の地域づくり、暮らしづくり、制度政策の推進を応援しておられます。そしてパネラーとして、兼原英文氏、長岡京市長 中小路健吾様、向日市長 安田守様、大山崎町長 前川光様、コーディネーターとして防災教育委員会の富田達也君によるパネルディスカッションを行い、生き抜く力「備える防災」をテーマに家庭内で備蓄をする「自助」そして助け合う「共助」について話し合っ



五月文化少年団

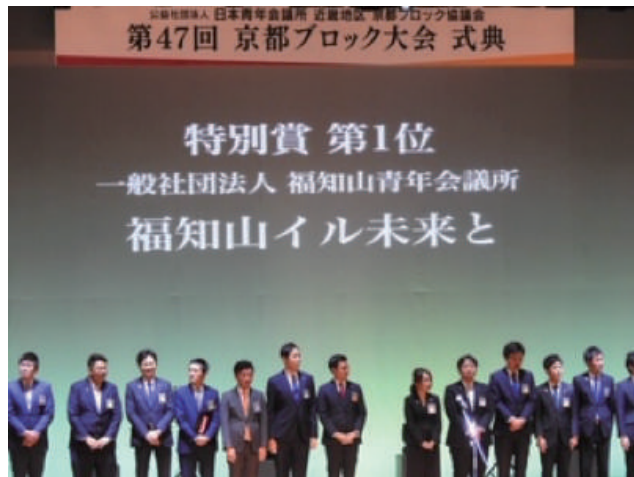
五月十二日、大山崎町中央公民館一階調理室にて第二回文化少年団、災害発生時のための料理教室が行われました。水しかない時、電気が使えない時など、状況に応じた非常食の知識の講習と、実際の調理と試食をしました。アイデア料理としましては、ドライ野菜とカンパンのスープとフライパンで蒸しパン等を調理しました。文末に簡単にレシピのご紹介をさせていただきます。子供たちにはいざという時にどのように食を取り、栄養のある食品を食べて生きるのかを学ぶ講習となりました。また事業の最後には八月のキャンプで（どんな非常食を食べてみたいか？）の発表も行われ、実りある時間となりました。レシピ紹介・ドライ野菜とカンパンのスープ、カンパンを砕く二、砕いたカンパンとドライ野菜とスープの素をカップに入れて熱湯を注ぐ。・フライパンで蒸しパン、ホットケーキミックス一袋に対して水を七cc入れる。三、フルーツ缶詰のシロップを三cc入れる。四、よくかき混ぜてアルミカップに入れる。五、フライパンにカップを並べる。六、カップの高さの三分の一くらいの水を入れ、蓋をして弱火で十五分蒸す。七、でき上がった蒸しパンに缶詰の中のフルーツをトッピングして完成。



第四十七回京都ブロック大会

五月十九日（日）福知山の地において、「つながる。くそして、光り輝く未来へ」を目的として第四十七回京都ブロック大会が開催されました。本年度は、ブロック大会運営委員会に、乙訓青年会議所から林副委員長が副委員長として、樋口幹事・河合委員・姜委員・佐々木委員・小林委員・田村委員が委員として出向しております。

一二時三〇分から福知山厚生会館で行われた式典は、私立淑徳高等学校和太鼓部とOB・OGによる和太鼓の演奏で始まり、レーザーの光演出とのコラボレーションで開会しました。次に京都ブロック協議会会長木戸康介君の挨拶があり、次に木戸会長から次回開催地の舞鶴青年会議所理事長丸山理事長へと大会KEYが移管されました。表彰式では、舞鶴青年会議所の「第二回わくわくワーク」がグランプリに選ばれ、準グランプリには、宇治青年会議所の「One Linkフェスタ 2018」が選ばれました。



では、福地ファンクラブ・ヴァレンティア・ダンス・スクール・NORTHERN ANSAIがダンスを披露され、福知山のご当地アイドルHappy Days・福知山出身の金山ゆいさんのライブがあり大盛況でした。ブース出展もされている福知山出身で東京にてミシュラン一つ星レストランを経営するフランス料理の杉本敏三氏インタビューがありフランスの修業時代から、起業に至るまでのお話もして頂きました。ブース出展として、「肉のまち福知山」・「スイーツのまち福地山」福知山の魅力を発信し地域の方々が出展されました。戦国エリアでは、「楽市楽座」二〇二〇年にNHKで放送が開始される「麒麟がくる」に向けて明智光秀に関する商品を京都府内各地から十二ブース出展がありました。FAMILYエリアでは、



子供たちを対象に体験ブースを出展されました。ふわふわ鬼バルーンは、強風で残念ながら中止となりましたが、多くの子供たちは、体験ブースで甲冑体験などをして賑わいました。多くのお子様からご年配の方々まで来場して頂き目標来場者を大きく上回る四千三百三十八人の来場があり「つながる。フェスタ」として最高の一日になりました。



第三回まちづくり実行委員会

五月七日に第三回まちづくり実行委員会が長岡京市中央生涯学習センター六階創作室一にて開催されました。よりよい委員会にいくために、沢山の地域諸団体、企業や行政との繋がりをどのようにしていけばよいかを話し合いました。白熱した議論が交わされましたが、結論には至らず次回に持ち越されました。また九月に行われる記念式典についても、どのような形で行っていくのかを話し合う場となりました。



今月のコレ！買いました！

正会員メンバーが今月買ったモノから、その人となりを知るコーナーです。今月は防災教育委員会の安原誠司君です。

最近買ったもの：広島カープの三連覇ユニフォームなぜそれを買いましたか？：元々広島ファンで野球好きのお客様と話をしたりする時に、ネタで着たりしています！あと最近カープ女子が増えて嬉しいです。



安原君ありがとうございます！関西では比較的小さいカープユニフォームを贈ることなく着こなし、自ら話のキッカケを作ることと人の繋がりがも創っていく。安原君からは仕事を真面目に楽しむ姿勢が伺えました。これからのJC生活も思う存分楽しんで下さい！

Profile

安原 誠司

所属委員会：防災教育委員会
仕事：祇園シエル
趣味：スポーツ全般観戦
野球も好きですがスポーツ全般好きです！
特技：特に無いです
利腕：右利き
血液型：O型
好きな食べ物：焼き鳥

乙訓地域諸団体紹介

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で活躍されている団体をご紹介します。

NPO法人チャレンジクラブ様



大山崎町で活動されている「チャレンジクラブ」様にお話を伺ってきました。小学校五、六年生に保護者が主催となつて、専用のクラブハウスを拠点に専従スタッフの森様と大学

生アルバイトスタッフ(クラブOB)が毎日子供たちとともに遊んだり勉強したり、キャンプ、三〇〇〇m級の夏山登山などの活動をしてられます。最近では、子供の「遊び」の優先順位が下がってきているが、「チャレンジクラブ」が「遊び」を通して、子供の発達を支える。日常生活の何気ない会話の中で、「チャレンジがあつてよかった。」と目に見えない成果を感じられる喜びがある活動をされておられます。

クラブのコンセプトは「決まりは少なく、選択肢は多く」基本的に子供が参加し、子供がルールを決めています。小学生五、六年生以外にも、週二回の学習会を開催し、基本としては中学生が多くその中で、週一回は高校生も参加されております。優先順位の低くなった「遊び」を体験できるチャレンジクラブを一度訪れてみてはいかがでしょうか。

NPO法人 チャレンジクラブ

TEL 075-753-5528
大山崎チャレンジクラブで検索。

乙訓の自然を守る会様



「野生の保全保護」を目的に一九八三年に創立された。乙訓地域は、西に六〇〇m級の西山連峰、中央部は田んぼや畑、東には桂川が流れる様々な環境の変化で多様な生き物が生息

している地域だと認識しています。しかし、人が守つていかないと野生動物を守ることはできません。それぞれの生き物に合った環境が必要になります。「乙訓の自然を守る会」が三〇周年を迎えた時に面白い生き物が集中しているホットスポットが、乙訓地域には八箇所あることが判明しました。子供向けの観察会を行っています。最近の小学生は塾やクラブが忙しくなかなか参加できない状況にあるため、幼稚園以下の子供たちが参加しています。昔の小学生は、池で釣りや山でターザンごっこなどをしていましたが、最近はいなくなり、生き物への興味も少なくなってきました。生き物と共存した社会の仕組み、生物多様性を大事にしていく必要があります。環境省が生物多様性を国家戦略としてあげていますが、予算が少ない省なので、里山づくりなどになかなか予算がつけられない現状にあります。生き物への興味を示すためにも、住んでいる乙訓地域の多様な生物と出会える観察会に一度参加されてはいかがでしょうか。

乙訓の自然を守る会

代表 宮崎俊一
http://otokuni-sizen.jimdo.com/



- コンテンツ
- ・ 四十周年 第四七回京都ブロック大会福知山大会
 - ・ 次回例会案内
 - ・ 発团式・4月文化少年団
 - ・ まちづくり実行委員会
 - ・ 公開討論会
 - ・ 会員募集
 - ・ 今月のコレ! 買いました!
 - ・ 乙訓地域諸団体紹介
 - ・ イベントカレンダー

OTOKUNI JCI official homepage

facebook

Instagram

四十周年

四月一三日(土)四月メモリアル一〇〇%出席例会・創立四〇周年記念式典・懇親会を開催しました。四月メモリアル一〇〇%出席例会では、理事長挨拶から、四月にメモリアル一〇〇%出席例会を開催する意味合いを正会員メンバーに分かりやすく説明して頂き、出席したメンバーには四月メモリアル一〇〇%出席の意義がしっかりと伝わったと確信しております。

そして、創立四〇周年記念式典はウエスティンホテル京都で開催させて頂きました。乙訓地域から離れた場所ではありましたが、遠方にも関わらず沢山の皆様にご出席して頂きました。式典では、理事長挨拶後の来賓挨拶で多くのお祝いのお言葉を頂きました。また四〇年間の歩みの紹介では、設立から現在に至るまで先輩諸兄姉が熱い気持ちと行動力をもって活動されていた様子を改めて知ることができました。現役メンバーも各地会員会議所にPRやコミュニケーション、当日ギリギリまで立ち位置の確認や受付、場外アテンド、場内アテンドと全員が真剣に作業することで感謝の気持ちを来場して頂いた方々に感じて頂いたと思います。

また、創立四〇周年記念懇親会では、会場の入口に竹を使用した架け橋の造作物を設置し、来場者の方々に渡って頂き入場するという演出を行いました。橋の上で写真撮影をして頂

いたことで皆様に喜んで頂けたと感じています。毎日夜中まで頑張つて作ってくれたメンバーのおかげで懇親会が一番の目玉になりました。またアトラクションの正副メンバーと委員会メンバーのダンスでは会場の皆様に盛り上げて頂き、ご来場の方に楽しんで頂けるよう一生懸命練習した努力が懇親会に来て頂いた皆様に伝わったのではないのでしょうか。今後は我々自身も変革を遂げなければなりません。しかし重要なことは全てを変えるのではなく、変えていかなければならないこと、変えていけないことをしっかりと見極めることが重要で、何のために、誰のために、どのような変革が必要なのかをメンバー全員が共通認識として、取り組むことで、我々が地域から負託と信頼を得て自らを誇れる組織として、志を胸に新たな価値を創造します。



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	5月
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	5月
								第五回総務財政委員会	四十周年特別委員会	防災教育委員会					第五回理事会	JICネットワーク構築委員会	JIC野球京都地区予選	会員拡大会議	文化少年団			五月例会	JAYCEE育成委員会	まちづくり実行委員会					第五回正副理事長会議	広報戦略委員会	乙訓青年会議所
京都JICホテトカップ チャリティゴルフコンペ														ガラシャイベント部会 ポテトカップ申込期限 ガラシャ役員会																行政・他団体	

第四七回京都ブロック大会福知山大会

第四七回京都ブロック大会が五月一九日(日)に福知山市で開催されます。今回の京都ブロック大会は「つながる。〜そして、光輝く未来(あした)へ〜」をテーマに掲げ、人と人、地域と人、そして地域と地域を福知山でつなぎ合わせ、地域の継続的な発展につなげます。「つながる。フェスタ」では福知山城を舞台に、肉とスイーツのまち福知山の地元名店が集い、明智光秀に因んだ戦国ブースや子供たちも楽しめる体験ブースも出店します。また、ステージパフォーマンスやクライマックスのオーラショーもみどころです。是非、ご来場頂きまして福知山のファンになってください。

開催概要

- 【日時】
5月19日(日)
・式典 12:30~15:02
・つながる。フェスタ 11:00~19:30
- 【会場】
・式典 福知山市厚生会館
・フェスタ 福知山城・ゆらのガーデン



次回例会案内(5月オープン例会)

近年、想定外の巨大地震や大型台風などの自然災害が頻繁に発生しており、日本各地に甚大な被害をもたらしている中、山と川に挟まれた乙訓は決して安全とは言えません。本年度、防災教育委員会では、自分の命を自分で守る「生き抜く力」が最も重要と考え、五月八日(水)「五月オープン例会」を長岡京市中央生涯学習センター三階メインホールにて十九時から開催致します。講師に防災学習や地域福祉に取り組んでいる柴原氏をお招きし、講演して頂き後にパネルディスカッション形式で「生き抜く力」備える「防災」について二市一町の市長、町長をお招きし、話し合ってください。来場者の方には防災冊子として有名な「東京防災」を当日お配りしますのでご家庭での防災にお役立てください。

発団式・4月文化少年団

四月七日(日)長岡京市産業文化会館にて発団式が行われ、団長、リーダーを始めとするメンバーの紹介と、保護者の方に年間事業及び活動内容説明をさせて頂きました。その後には名簿作りのために子供たちの写真撮影をさせて頂きました。四月事業として、班に分かれて貸切バスで防災センターへ移動し様々な防災時における体験をして頂き、学び多い事業となりました。今年度の文化少年団はテーマに「生き抜く力」として防災に特化した事業を構築していくことで、子供たちに様々な体験での気づきや学びを得て頂ける機会を創出していきます。



まちづくり実行委員会

四月二日(火)に長岡京市中央生涯学習センター六階の創作室にて、第二回の乙訓まちづくり実行委員会が開催されました。四〇周年特別委員会より今回の趣旨の説明があり、参加者の方々と意見交換をすることができました。今回は主に九月に行われる予定の記念事業について地域諸団体の方々から本場に参考になる意見や今後の開催にあたっての質問や開催場所などについての話し合いの場となりました。また、我々四〇周年特別委員会も四〇周年記念事業を開催するにあたり地域に住まう人々の意見がとて貴重なものであると再認識する機会となりました。今後も、地域諸団体の皆様とともに乙訓まちづくり実行委員会を盛り上げていきたいと思っております。



公開討論会

四月九日(火)向日市商工会三階会議室にて向日市長選挙マニフェスト志向型公開討論会が開催されました。現在は一八歳から投票できるようなっていていることから、若年層を中心に市民の皆様が、立候補予定者のビジョンや政策を聞ける機会とし、政策本位の政治選択に繋げるとともに、まちや政治に関心をもつ機会を創出することを目的として学生団体にコーディネーターネットワークを務めて頂き、候補者に討論して頂きました。今回は若年層に少しでも政治に関心や意識を向けて頂くためにもライブ動画配信とさせて頂きました。討論会の動画を投票日前日まで各SNS上で公開させて頂き、「いいね」「シェア」をして頂き、拡散して頂けたことでより多くの向日市民に届けることができ、政治への参画意識を高めて頂く機会となったと感じております。

会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を三信条として様々な活動を行っている集まりです。地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味ございます方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(075-957-1230)までご連絡ください。お待ちしております。

今年度入会者数1名 正会員67名

今年度29名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります。

今月のコレ!買いました!

正会員メンバーが今月買ったモノから、その人となりを知るコーナーです。今月は防災教育委員会の田中炳穂君です。

最近買ったモノ: プレートコンパクター
なぜそれを買いましたか?: 以前はリース会社から必要な時にリースしていましたが、ずっと買いたいと思っていて先日、買える順番がきたので購入できました。



田中君ありがとうございます! 仕事の道具選びとラーメンの注文の仕方にならぬこだわりを見せる田中君、JC活動においてもそのこだわりを貫いて頑張ってください!

Profile

田中 炳穂
所属委員会: 防災教育委員会
仕事: 建設業
趣味: プロ野球観戦(スポーツ全般)
特技: 特にありません。
利腕: 右
血液型: A型
好きな食べ物: ラーメン
最近一押しのおススメラーメンは伏見の「ばんらい屋」さんです。いつも醤油ラーメン肉増し麺カタを食べています!

乙訓地域諸団体紹介

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で活躍されている団体をご紹介します。

行政・他団体

ブライダルサロン灯 森本知子様



大山崎町の「ブライダルサロン灯」の森本知子さんは、十三年間に三人の親の介護と看取りを経験されました。その間には、アゼリアで在宅ヘルパーもされ、介護保険外の「マザーリース」の立ち上げにも関わっていました。

六〇歳からボランティアとして「あかり文庫」では施設に本を寄贈し、仲間を集い施設での紙芝居・歌・踊り等素敵な時間を共有されたこととです。その間に四柱推命の鑑定士の資格を修得されました。

三人の看取り後、縁あって「日本ブライダル連盟」の結婚相談所を二週間で開催されました。その後、乙訓全体の活動を知るために「まちづくり実行委員会」に参加されています。

森本さんの夢は「乙訓の人口が結婚、出産により増加し少子化の解消のお手伝いができること・結婚により幸せの輪を広げること」だそうです。

本人の意識次第で結婚は三か月で決まるそうです。明るく気さくな森本さんに結婚の意識のある方は一度お話を聞きに行ってみてはいかがでしょうか。

ブライダルサロン灯

代表 森本知子さん
ホームページ <http://akari-tomoko.com>

伝承コマ回し保存会 白川道雄様



子供時代に得意としていた昔の遊びの「コマ回し」の技を現代の子供達に伝承しようとして平成二年に長岡京市で発足し、三〇年間に亘り継続して小学生を中心にあらゆる場を通じて伝承してこられました。その発端は、発足当時中学生によるイジメが社会問題として発生しており、これを解消するためには小学生の間に「コマ回し」を通じて友達作りをするためのきっかけをお手伝いすることが必要だと考え活動しておられます。乙訓DREAMフェスタには第二回目から参加しておられ、その時には「チビツ子コマ名人」の得意の技を舞台で披露していただきました。その後も毎年参加を続けておられ、地域の子供達にコマ回しのコツを分かりやすく教えてあげ、上手にコマを回せるようになったと、参加された子供達は笑顔で帰って行かれているとのことでした。その他、七年前から毎年一回「長岡京市小学生コマ回し大会」を長岡京市教育委員会の支援を受け、各小学校のすくすく教室から選ばれた選手により一位から三位までに表彰状を授与し、子供達の交流に尽力しておられます。

伝承コマ回し保存会

代表 白川道雄さん
携帯 090-1240-1379

4月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	
乙訓青年会議所	会員拡大会議	まちづくり実行委員会	広報戦略委員会	第四回正副理事長会議			文化少年団		公開討論会(候補日)	JAYCEE育成委員会			四月メモリアル例会 四十周年記念式典			Jネットワーク構築委員会		第四回理事会							防災教育委員会	四十周年特別委員会	第四回総務財政委員会	会員拡大事業(予定日)			火

乙訓新聞

OTOKUNI News Paper
2019年4月号
JCI

コンテンツ

- ・やすしさんぽ
- ・3LOM合同交流会
- ・例会報告
- ・ケイジャーズカップ
- ・まちづくり実行委員会
- ・会員募集
- ・桂川流域クリーン大作戦
- ・次回例会案内
- ・今月のコレ！買いました！
- ・乙訓地域諸団体紹介
- ・イベントカレンダー



OTOKUNI JC official homepage



facebook



Instagram

やすしさんぽ

～乙訓地域の魅力探訪～

三浦理事長が乙訓地域を中心に、自分たちの町の魅力を再発見し読者の皆様にも町の魅力を再認識して頂けるよう、不定期ではありますが配信させていただきます。

今日は大山崎にある宝積寺(通称:宝寺)から駅周辺を散策してみました。JR山崎駅から宝積寺まではかなりの坂道になっており、徒歩で上まで上がるのは少し息が切れるぐらいです。

この宝積寺には「三重塔」や「閻魔堂」、「打出と小槌」、「十一面観音像」など数多くの文化財があり、国の重要文化財から京都府の指定有形文化財、大山崎町の指定文化財というようにほぼすべての種類の有形文化財があります。お寺の方に挨拶に行くとき快く案内していただくことができました。

まず案内していただいたのが「三重塔」です。「三重塔」は別名「秀吉一夜の塔」と言われ織田信長の敵討ちのために、豊臣秀吉が明智光



秀が大勝利した山崎の合戦を記念して一夜にして建立したと伝えられています。秀吉はこの宝積寺を本陣とし、山崎の合戦から約一年間はこの宝積寺に滞在しました。また本堂の脇には秀吉が腰かけて天下統一について考えたといわれる「出世石」があります。この「出世石」に腰かけると出世運や仕事運がアップするとの事で、許可をいただき三浦理事長も腰かけてみました。



次案内していたのが「閻魔堂」です。「閻魔堂」には閻魔大王と4体の神像と仏像があり、いずれも国指定の重要文化財に指定されています。お寺の方のご厚意で閻魔様と一緒に写真を撮らせていただきましたが「本来、閻魔様の前では懺悔の時。また一からと素直な気持ちになった」との三浦理事長の言葉が印象的でした。

続いて案内していただいたのは一寸法師伝説で有名な「打出と小槌」と「大黒天神」が祀られている「小槌宮」です。一寸法師の話中

では、大阪の住吉大社からお椀の舟に乗って箸の權で京を目指した一寸法師が京都に上る途中、ここで修行したと言いつたといわれています。

一寸法師は鬼退治の後に手に入れた打出の小槌を振つて、体がずんずん大きくなった話があるのですが、実際には一寸法師の体はそこまで小さくなく、普通の身長男性ぐらいだったとの事です。またこのお寺で修業した際に元からここに祀られていた「打出」と「小槌」のご利益で鬼を退治することができ、お姫様と結婚し出世がかなったとも言われています。一般的には「打出の小槌」と言われていますが、「打出」と「小槌」は別々のもので「打出」は種まきの際に土にさして穴をあけるためのもので、「小槌」は実りを祈願して振るためのもので、「小槌」はもとも大黒様が手にしておられたことから実際にこの「小槌宮」で「祈禱」としてと金運を授かることとされています。ここで三浦理事長の格言をご紹介します。

「商売繁盛ゆかりし秀吉の打出と小槌の金光に目覚めし時の笑顔かな！」

三浦理事長の格言は今後もやすしさんぽ内でご紹介していきたいと思っております。

また「宝積寺」には十一面観音像や毘沙門天なども祀られています。宝積寺の仁王門を出ると桂川、宇治川、木津川の三川が合流して淀川となる三川合流の景色が眺められます。宝寺から坂を下りしばらく歩くと「離宮八幡宮」があります。この「離宮八幡宮」は荏苒(えんぜん)「ごま」油発祥地で油の製造と販売の中心「油座」として、特に安土桃山〜江戸時代には「西の日光」と呼ばれるほど壮大な神殿を構え栄華を極めていました。現在では油の神様として地元の方々や油関係の企業の方々などから広く愛されています。乙訓青年会議所も文化少年団での荏苒麻油しぼり体験などさせていただいています。



「離宮八幡宮」からさらに進むと「三笑亭」があります。今日は「三笑亭」の五代目・酒井亮さんとお話することができました。

三浦理事長 こんにちは。こちらはいつから「商売されていらっしゃるのですか？」

(酒井さん) 創業約一四〇年で私が五代目です。今は四代目の父と一緒に天ぷらをあげています。

(三浦理事長) 一四〇年とはすごいですね！お客様は地元の方が多いですか？

(酒井さん) 最近では観光でおいえになれる方が多いです。地元の方は記念日などで使っています。

(三浦理事長) 先ほどの宝積寺の方もおっしゃっておられますが、トレーニングで大山崎に来られる方が増えているみたいですね。大山崎は観光資源が多くあるので乙訓JCIとしてもっとアピールしていければと考えています。

(酒井さん) アピールしてもらえたら町も盛り上がるのでありがたいです。ウチだけではなくて最近、大山崎周辺は飲食店が増えているのでみんな喜ぶとおもいますよ。

(三浦理事長) 地域の発展のためにお互い頑張っていきましょう！

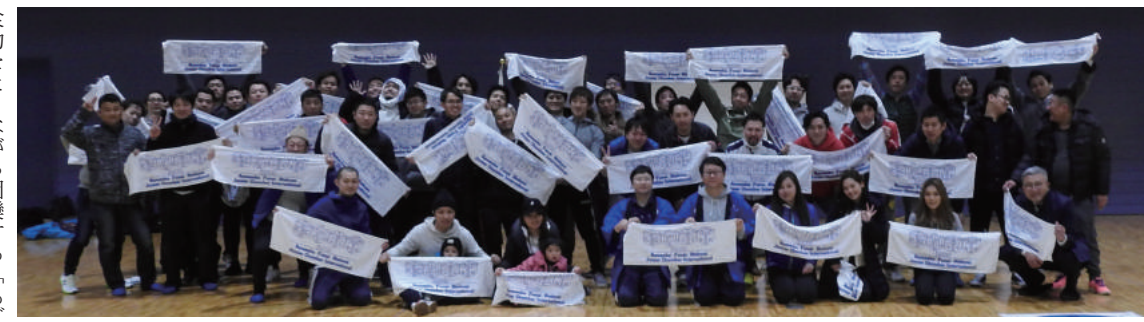
三月オープン例会

三月一四日(木)長岡京市中央生涯学習センター三階メインホールにて株式会社バルニバービ代表取締役 佐藤裕久氏をお招きして『乙訓はパッドロケーション！日本一カフエで街を変える男』というテーマで三月オープン例会を開催しました。佐藤氏は人が集まりにくい場所、いわゆるパッドロケーションに開業されて、成功をおさめられた。講演では、自分が楽しんで面白いことを見出し、それをやり続ける大切さをお話しされ、乙訓青年会議所が街づくりをしている団体ということを踏まえて、街づくりにおいてはまず街を知り、魅力を感じる事が大切であり、義務感だけでは本物の街づくりはできないとお話しされました。佐藤氏の講演を聞き私達は街を知り魅力を見出し活動していきたいと思いました。



3LOM合同交流会

三月一七日(日)に大山崎町体育館にて三LOM合同交流会を開催致しました。カローリングという中々体験することができない競技で親交を深めるべく、乙訓青年会議所・亀岡青年会議所・船井青年会議所の混合三人チーム、全一八チームで競技を行いました。チームによって様々な取り組みが見えました。誰がどの役割を担うのか、そのフォローを誰が行うのか。各試合大変盛り上がりました。試合の合間に持ち寄った飲食物をとりながら団結する「もぐもぐタイム」では各LOMの皆様に多大なるご協力を頂きまして楽しい時間となりました。また、懇親会ではメンバーが前に立つ機会も多く大変盛り上がりました。その後の表彰式は優勝チームや三LOM理事長賞の受賞者を発表してお祝いし、親睦を深めることができました。



第十二回桂川流域クリーン大作戦

二月二四日(日)第一二回桂川流域クリーン大作戦が開催されました。この事業は「桂川流域クリーンネットワーク」が主催する事業であり、「美化」清掃活動による河川美化、「啓発」活動を通じ美化意識を高めマナーの向上を図る。「持ち帰り」ゴミを捨てない「ゴミの持ち帰り運動」の展開へと発展させることを目的に、淀川水系一斉美化アクションとして南丹市から島本町までの各地域で一斉に清掃活動が行われます。当日は天候にも恵まれ、多くのメンバーが朝早くから集まり、地元の方々や地域諸団体の方々とともに淀川河川公園大山崎地区内の清掃活動を行いました。ゴミのない綺麗な川にするために、今後も多くのメンバーでの参加を継続していきます。



まちづくり実行委員会

二〇一九年度の第一回乙訓まちづくり実行委員会が開催されました。四〇周年特別委員会の山口委員長から「まちづくり実行委員会」の方向性と内容の説明が行われ、九月に行われる予定の記念事業についての意見交換や、参加して頂いた地域諸団体の方々から自己紹介などもあり、有意義な時間となりました。まちづくり実行委員会も今年で三年目。地域諸団体の皆様のお力になれるよう今年も頑張っていきます。

次回例会案内

【40周年特別委員会】四月メモリアル一〇〇%出席例会では、一〇〇%出席で創立を祝い、記念式典・懇親会の準備へと繋がります。創立四〇周年記念式典では、乙訓青年会議所の継続的な発展へと繋げるために、これまで支えて来て頂いた方々に感謝の気持ちを伝え、五年後未来Visionを発表することで、今後も協力して頂く関係の構築に繋がります。そして懇親会では、来て頂いた方々と交流を深めることで、これからの運動に対する意識の向上をさせ地域の新たな可能性に繋がります。

開催概要

【日時】
4月13日(土)
・4月メモリアル100%出席例会
13:00 開始 (受付開始12:30)
・創立40周年記念式典
16:00 開始 (受付開始15:00)
・40周年記念懇親会
18:00 開始 (受付開始17:30)
【会場】
ウェスティン都ホテル京都西館4F・瑞穂の間
〒605-0005 京都市東山区粟田口華頂町1
TEL:(075) 771-7111



次回開催概要

【日時】
4月1日(月) 18時30分～20時
【会場】
長岡京市中央生涯学習センター 6階創作室1
【担当委員会】
40周年特別委員会

ケイジャーズカップ

三月一七日(日)ケイジャーズカップ決勝戦が開催されました。それぞれのチームが日頃の練習の成果を發揮しながら優勝という一つの目標に向かい、真剣にバスケボールに取り組んでいる姿がとても印象的でした。スポーツを通して得たものや、また目的に向かってチームメイトと一生懸命に努力した経験は、その後の人生において必ず役に立つことだと感じました。



今月のコレ！買いました！

正会員メンバーが今月買ったモノから、その人となりを知るコーナーです。今月は広報戦略委員会の勝山誠君です。最近買ったモノ：冷蔵ショーケース。なぜそれを買いましたか：十一年間使っていたモノが壊れて買い替えました。主にグラスを冷やしているのでとても重宝しています！お客様にはこれからの暑い季節、キンキンに冷えたグラスでビールを楽しんでほしいです！



会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を三信条として様々な活動を行っている集まりです。地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味ございます方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(075-957-1230)までご連絡ください。お待ちしております。

今年度入会者数0名 正会員66名
今年度29名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります。

勝山 誠 Profile

所属委員会：広報戦略委員会
仕事：DiningRayMond オーナーシェフ
趣味：昔はアメ車をよく乗り換えていましたが、今は仕事も忙しく特にありません
特技：オムライス作り 血液型：AB型
好きな食べ物：他人が作ってくれた料理

お客様に冷えたビールを提供するための冷蔵ショーケース購入。まさに仕事へのこだわりとお客様へのサービス精神の賜物ですね。J.C.生活での経験や出会いをキッカケにまた新たな趣味が見つかるといいですね。

2019年度 乙訓文化少年団 団員募集

生き抜く力

我々の住まう乙訓地域も大地震や台風や豪雨に伴う洪水など、地域住民は常に自然の猛威と向き合わなければならないと考えます。災害を生き抜くには何が大切なのか。防災を役立てるには何が大切なのか。本年度、乙訓文化少年団では「防災」をテーマに様々なイベントで子供たちに「生き抜く力」を備えて頂きます！

< 詳細 >

- ・団員の対象は小学1年生～6年生の児童です。
- ・年間登録料は10000円となります。
- ・事業年度は毎年4月1日から12月31日までとなります。
- ・事業において天候等による不慮の原因での中止、団員の欠席時等、登録費の返金は致しません。また、雨天のため開催ができない事業に関しましては、当日8時までにご連絡致します。
- ・事業中止の振替日の設定は基本的にありません。(ある場合は事業案内に記載)
- ・事業の日程に変更がある場合は、1か月前の案内に記載致します。
- ・事業中の怪我等の対応については、病院の手配、連絡等迅速な対応ができる準備をしています。

ここ乙訓地域も大地震や台風や豪雨に伴う洪水など地域住民は常に自然の猛威と向き合わなければならないと考えます。災害を生き抜くには何が大切なのか？ 防災を役立てるには何が大切なのか？ 今年度乙訓文化少年団では「防災」をテーマに様々なイベントで子供たちに「生き抜く力」を備えて頂きます！

乙訓地域諸団体紹介

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で活躍されている団体をご紹介します。

ボランティア・ポコの会 吉川理香様



今回は子供たちと音楽ボランティア・ポコの会の吉川理香さんにお話を聞いてきました。【音楽の力で元気になろう】子どもたちの活動は、福祉の心の種まきをコンセプトに、ポコの会を立ち上げられた吉川さんは音楽療法を学ばれ、地元大山崎町を盛り上げていきたいという思いから、

地域の子供たちを中心に現在は活動されていて、園児から小学校六年生を中心に一六名のメンバーで老人ホームや福祉施設等を回られておられます。施設では季節に合わせた音楽をハンドベルで奏でたり、最後にはいつも全員で『ふるさと』を合唱してお年寄りに笑顔をお届けされています。また『肩たたき』を歌いながら実際にお年寄りの肩を順番にたたくというプレゼントもされており、涙を流して喜んでくれるお年寄りもおられるとのこと、お互いが素敵な時間を過ごし、温かい気持ちになれると感動的なお話も聞かせて頂きました。最近では活動が広まり、京都府PTA指導者研修会のオーブニングを飾ったり、保育所へ音楽ボランティアに行ったり、認知症啓発活動のrun伴にもポコの会ランナーとして参加し、北海道から受け継がれているタスキを八幡市から長岡京市へと運んだり活動の幅を大きく広げておられます。今は『星に願いを』に取り組んでおられ、メンバーも募集中とのことですので是非一緒に活動してみませんか。

ボランティア・ポコの会

Eメール ri-ka.tamachan@ezweb.ne.jp
FAX 075-957-5660

地域情熱Lab 渡邊智子様



設立の動機として当初、関西を中心とした「地域情熱ネットワーク」という会に参加しており、政治政策等について活動していたのを

きっかけ、乙訓に特化した団体を作りたいと思い、「地域情熱Lab」を設立されました。活動は一人でされており、セミナーやイベントで収支があるため、一年前から個人事業主として活動しておられます。セミナーとしては、「学校では教えてくれないこと」をテーマに、「仏教と歴史」について講演しています。イベントとしては、お茶会、異業種交流会を開催しております。活動のコンセプトが「人と人をつなげる」とされており、「人生を楽しむ」ともあって、「女性に多く来て頂きたい」、「お店を出したい」という方が、異業種交流会に参加されているので、興味がある方でも異業種交流会に参加して頂いて、多くの方と知り合い、繋がって頂きたいと考えておられます。

活動の源は、災害等が起こった時に助け合いが必要となり、その中で、自分さえ良ければいいと言ってしまう方はいけません。災害で被害を受けた時にお互いが助け合えるためにも、普段から人との繋がりが大切であると、普段から「地域情熱Lab」として活動されておられます。

地域情熱Lab

Eメール chi.tumi.kai@gmail.com
携帯 090-2286-9160

乙訓新聞

OTOKUNI News Paper
2019年3月号
JCI

コンテンツ

- ・次回例会案内
- ・やすしさんぽ
- ・会員募集
- ・今月のコレ！買いました！
- ・乙訓地域諸団体紹介
- ・第一回通常総会
- ・例会報告
- ・文化少年団募集
- ・イベントカレンダー



OTOKUNI JC
official homepage



facebook



Instagram

やすしさんぽ

YASUSHISANPO

～乙訓地域の魅力探訪～

三浦理事長が乙訓地域を中心に、自分たちの町の魅力を再発見し読者の皆様にも町の魅力を再認識して頂けるよう、不定期ではありますが配信させていただきます。

今日はサントリー山崎蒸留所を見学から周を散策しJR大山崎駅近くまで歩いてみました。

サントリー山崎蒸留所は日本に三ヶ所あるサントリーのウイスキー蒸留所の一つで一九二三年、寿屋（現・サントリーホールディングス）創業者・当時の社長である鳥井信治郎によって開設されました。鳥井信治郎はここ山崎が、かつて千利休が茶室を設けた古くからの名水の地であることや、桂川・宇治川・木津川が三川合流し霧が立ち込めている立地がウイスキーづくりに適していると考えたとのこと。サントリー山崎蒸留所では見学ツアーが開催されていますので（要予約）今回はウイスキーの製造工程やテイasting等が楽しめる有



料ツアーに参加させて頂きました。ウイスキーの製造工程の説明では、ウイスキーができるまでの一連の流れを説明して頂けました。また、ウイスキーづくりの現場である仕込み、発酵、蒸留、貯蔵の一連の工程を見学することが出来ます。ウイスキー貯蔵庫では何百とある樽の中から乙訓青年会議所が設立された一九七九年もののウイスキーを発見しました。三浦理事長も一九七九年生まれです。どの樽にも深い味わいを感じて頂きたいです。また木樽に使用される木の種類のウイスキーの味が全く異なることに驚きました。普段、ハイボール等で何気なく飲んでいるウイスキーの製造工程やそこで働く方々の想いを知ることができ、さらにウイスキーの魅力をj知ることができました。また、鳥井信治郎の言葉であり、サントリーが創業精神として掲げている「やってみなはれ（失敗を恐れず何事も挑戦する）」の精神は我々青年会議所の活動にも当てはまると感じました。



今回の散歩では、サントリー山崎蒸留所の敷地のすぐ隣に何やら趣のある神社を発見しました。よく調べるとこちらの神社は奈良時代の僧侶「行基（ぎょうき）」が建立した大変、歴史のある神社（当時は西観音寺というお寺でしたが、明治元年の神仏分離により西観音寺は廃寺となり椎尾神社となりました）。で、鎌倉時代には後鳥羽上皇がしばしば行幸する程の名高いお寺でした。しかし長い歴史の中で衰退し鳥井信治郎がこの地にウイスキー蒸留所を建立する頃にはすっかり荒れ果ててい

ました。鳥井信治郎は村の人びとと協力し、この神社の復旧に努めたとのこと。今では地元の人びとの氏神様として、地域の人びとやサントリーの従業員の方々から愛される神社となっています。敷地内やまぶきの花は国内でも多種の品種が植えられており四月には一〇〇本以上の花が楽しめます。また西観音寺時代の焰魔堂は大念寺へ、閻魔大王と眷属の五尊像は宝積寺へと大山崎の寺へそれぞれ移されること等、地域の結びつきが当時からあったことがうかがえます。

椎尾神社を出て山なりに歩くと、「大阪水上隣保館」があります。大阪水上隣保館は大阪の堺教会の牧師をされていた中村達先生と妻・八重子ご夫妻が、当時、大阪港に働く水上生活者の厳しい生活実態、とりわけ船（艇）で暮らす子供たちの悲惨な状況を痛め、一九三一年三月、大阪市港区にその子どもたちを預かる「水上子供の家」を開設したのが始まりです。第二次大戦の空襲により港区の施設は全焼してしまいましたが、中村夫妻の「隣人愛」の精神に基づき「援助を求める人いるならば、ためらわず手を差し伸べる」と想いの基、今の場所に移り新しい施設を設け今日に至っています。今では保育園や特別養護老人ホーム、保育福祉専門学校など一〇もの施設を運営する総合福祉施設となっています。

大阪水上隣保館の敷地を抜けるとJR大山崎駅前の踏切付近に出ます。ここから坂を上ると宝積寺や聴竹居、大山崎山荘美術館など魅力的な場所が多くありますが、それはまた別の機会に訪れたいと思います。

つづく

二月例会

二月（四日）に大山崎ふれあいセンターにて二月例会を開催させて頂きました。この例会はメンバー一人ひとりが何のためにJ.C活動をしているのか、今一度自身を振り返って頂き、目的をもって活動することの重要性を理解して頂くために開催致しました。初めに藤田委員長による過去の経験談を話して頂き、目的をもって活動しなかつた



この後悔や目的をもって行動したことによる変化を参加者に学んで頂きました。そして第一部では「バケットリスト」を用いてメンバーそれぞれがJ.C活動で「やってみたいこと」、「夢」などを導いて頂き、自身が描く人物像を作成して頂きました。後の第二部では某プロ野球選手も高校時代に作成・実践し、現在はその夢を実現させたといわれている「マンダラチャート」を参加者に記入してもらい、第一部で導き出した人物像になるために具体的にどのような行動を起こせばよいかを抽出して頂きました。参加者は初めて使用するというメンバーも多く、悩みながらも目的や人物像を導き、新たな目的を記入しておられました。その後、各委員会内でメンバー一人ひとりの今後の目的や自身が導き出した人物像を発表して頂くことで、決意表明も含まれた内容となりました。近年、入会歴が浅いメンバーや「何のためにJ.C活動をしたいのか」や「何がやりたいか」を見つけたらいいメンバーが多いメンバーが多い昨今、乙訓青年会議所全体で目的をもった活動を行い、メンバーそれぞれにとつて意味のある学びを得られ、J.A.Y.C.E.E育成委員会として正会員全員を取り残さない覚悟で活動していきまますので、どうぞ宜しくお願い致します。



第一回通常総会

一月三十一日（木）長岡京市中央生涯学習センター三階メインホールにて第一回通常総会が開催されました。二〇一八年の事業報告並びに決算報告があり、そして二〇一九年度の第二次収支予算が可決承認され、二〇一八年催理事長より二〇一九年三浦理事長へと無事に引き継がれました。



今月のコレ！買いました！

正会員メンバーが今月買ったモノから、その人となりを知るコーナーです。今月は小林大希君です。

最近買ったモノ・・・安全靴
なぜそれを買いましたか？：前のモノが古くなったので。仕事柄、体を動かすことが多いので動きやすく軽い安全靴の方がいいです。スポーツメーカーの安全靴は疲れにくいですし、軽くて丈夫なのでお気に入りです！



Profile

小林 大希
所属委員会：J.Cネットワーク構築委員会
仕事：美装業
趣味：ライブ鑑賞
特技：速読
利腕：右腕
血液型：O型
好きな食べ物：お肉

小林君ありがとうございました！
特技の速読とフットワークの軽さでJ.C活動もサクサクこなしてってくれることを期待しています！

京都ブロック協議会会長公式訪問

一月三十一日（木）京都ブロック協議会会長公式訪問が行われました。今年の会長公式訪問では、第一部として木戸会長のスピーチがあり、第二部では会長の肝煎りで、会長をはじめブロック役員の方々が委員会の毎のテーマを巡り、委員会メンバーの質問に直々にお答え頂く機会が設けられました。



第一部のスピーチでは何を目的にJ.C活動を行っているのか明確にして活動することで、メンバー一人ひとりが自己成長をし、社会に貢献する大切さについて熱く語り上げて頂きました。大変分かり易いスマートな語り口で熱い思いを語って頂き、ブロック活動はもちろん、乙訓J.Cの活動にも反映させようという思いがメンバーに生まれたと思います。第二部では、委員会メンバー一人ひとりの質問に木戸会長をはじめブロック役員の方々に答えて頂きました。例年はスピーチの後にはその場で全体から質疑応答を行う形式が取られておりましたが、今回は少人数の中で質問しやすく、本音を語る雰囲気の中で第二部として進行されました。京都ブロックに出向しているメンバーはもちろん、出向していないメンバーからも活発な質問がなされ、役員の方々には

一つひとつの質問に親身に答えて頂きました。出向しているメンバーは活動の励みに、出向していないメンバーにとっては今後の出向に対する動機付けになったと思います。



会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を三信条として様々な活動を行っている集まりです。地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味ございます方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）までご連絡ください。お待ちしております。

今年度入会者数0名 正会員66名
今年度29名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります。

我々の住まう乙訓地域も大地震や台風や豪雨に伴う洪水など、地域住民は常に自然の猛威と向き合わなければならないと考えます。災害を生き抜くには何が大切なのか。防災を役立てるには何が大切なのか。本年度、乙訓文化少年団では「防災」をテーマに様々なイベントで子供たちに「生き抜く力」を備えて頂きます！

- < 詳細 >
- ・団員の対象は小学1年生～6年生の児童です。
 - ・年間登録料は10000円となります。
 - ・事業年度は毎年4月1日から12月31日までとなります。
 - ・事業において天候等による不慮の原因での中止、団員の欠席時等、登録費の返金は致しません。また、雨天のため開催ができない事業に関しましては、当日8時までにご連絡致します。
 - ・事業中止の振替日の設定は基本的にありません。（ある場合は事業案内に記載）
 - ・事業の日程に変更がある場合は、1か月前の案内に記載致します。
 - ・事業中の怪我等の対応については、病院の手配、連絡等迅速な対応ができる準備をしています。

2019年度 乙訓文化少年団 団員募集



ここ乙訓地域も大地震や台風や豪雨に伴う洪水など地域住民は常に自然の猛威と向き合わなければならないと考えます。
災害を生き抜くには何が大切なのか？
防災を役立てるには何が大切なのか？
今年度乙訓文化少年団では「防災」をテーマに様々なイベントで子供たちに「生き抜く力」を備えて頂きます！

乙訓地域諸団体紹介

長岡京市・向日市・大山崎町の二市一町で活躍されている団体をご紹介します。

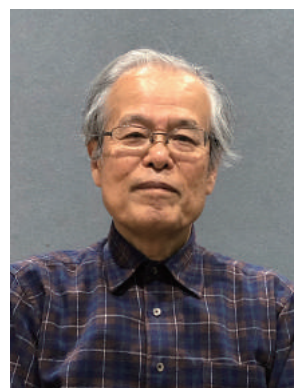
行政・他団体

次世代に語り継ぐ京ことばの会 金子京子様



京ことばは、他府県から見るとやさしい。コミュニケーションを取るにいい言葉です。千年の都があり、その生活の中で生まれたやさしい言葉。アクセントが重要なので、【声で残す】京ことばは婉曲(遠まわしで言う)相手を立てて自分も守る。人付き合いをよくするのにいい言葉です。金子さんの好きな京ことばは、三つ。色合いを表す言葉の「はんなり」、「ごめんではなく「かんにんえ」、味覚を表す「まつたり」だそうです。

京おとくに・街おこしネットワーク



京おとくに・街おこしネットワーク(略称:KOMO)さんは、二〇〇七年に京おとくに・観光文化検定を受験され、改めて乙訓の良さを感じられた合格者のうちの五〇人によって、二〇〇八年二月に歴史と自然豊かな京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくりをテーマに活動しております。

取組みとして、修学旅行生に京ことば研修を開催しており、学生に合わせた分かりやすい説明で、京ことばの成り立ち、特徴、語源等学んで頂ける研修になっております。また立命館大学にて「京ことば」による劇を台本作りから作成し、見に来て頂いた皆様に楽しんで頂けるような、劇を披露し、魅力を伝えていきます。乙訓地域では生涯学習を推進して、小中学校でお話している。子供を対象に次世代に残していく活動も積極的に行っている。京都市教育委員会「GOGO土曜塾」子供用の冊子、京ことばカルタ、京ことばで語る昔話のCDを作成し、子供たちの遊びの中で「京ことば」に触れて頂いています。今後は、漫画の本を制作し、さらに子供たちに触れ合う機会を設けたいとお話を頂きました。いい言葉なので後世に残していきたいですね。

て乙訓の良さを感じられた合格者のうちの五〇人によって、二〇〇八年二月に歴史と自然豊かな京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくりをテーマに活動しております。たぐさんの活動をされておられますが、今回はその一部をご紹介させて頂きます。まず初めに、西山古道の整備です。かつては善峯寺・柳谷観音・光明寺を巡る信仰の道として市民の方々に利用されていましたが、大通り等ができたことにより、利用者がほとんどいなくなり、獣道となっていました。家族連れでも楽しめるハイキング道として甦らされました。そしてもう一つ平和の桜としても有名な「陽光桜」を西山一帯に植樹され、今では400本を超える数の桜が植えられ、春にはたくさんの方々の地域の方々、観光客を喜ばせておられます。他にも西山連峰トレッキングマップ等の製作販売もしておられ、現在書店や阪急電車案内所等ならんでいます。このような活動が評価され、平成三〇年度国土交通省大臣表彰・手づくり郷土賞(一般部門)を受賞されました。これからは地域・市民・行政と手を合せて乙訓を良くしていきたい、盛り上げていきたいと熱意を感じるお話を頂きました。今後の活動が益々楽しみになってきましたね。

乙訓新聞

OTOKUNI News Paper
2019年2月号
JCI

- コンテンツ
- ・1月例会・新春交歓会
 - ・京都会議
 - ・京都会議ロムナイト
 - ・事務局開き
 - ・青松会初釜
 - ・文化少年団員募集
 - ・乙訓地域諸団体紹介
 - ・イベントカレンダー

OTOKUNI JCI official homepage

facebook

Instagram

一月例会・新春交歓会

一月十一日(金) ハイアットリージェンシー京都にて正会員メンバー、特別会員、他LOMの方々をお招きし、二〇一九年度「一月例会・新春交歓会」を開催させて頂きました。

一月例会にて第四十代理事長である三浦理事長が、「新」に挑む、一志を胸に新たな価値を創造しようのスローガンについてお話され、一年間の活動や方向性をお話し頂くことで、メンバーが意識を統一するとともに、組織が一枚岩となり活動していく気概をもつことができました。

新春交歓会では三十九年間に渡る乙訓青年会議所の運動の中で絶えず協力頂いている地元行政、特別会員、他LOMの方をお招きし、冒頭の四十年特別委員会とAKクラブによるオープニングアトラクションの後に、歴代理事長の紹介、正副理事長紹介、委員会紹介、出向者紹介を行い、創始の志から始まり、先輩の皆様が脈々と受け継がれてきた歴史と二〇一九年度の方向性をお伝えすることができました。そして、ご参加頂いた皆様と新春を祝うとともにメンバーと参加者との信頼関係をさらに深め、今後の乙訓

青年会議所運動にご協力頂ける関係性を構築する機会となりました。「一月例会・新春交歓会」を契機として、メンバー一人ひとりが青年会議所運動に全力で取り組むことで、益々の信頼関係向上、協力が繋がることを考えます。本年も乙訓青年会議所メンバー全員が光輝く一年にしていきたいと思えます。この日から新たな挑戦をする四十年目の乙訓青年会議所がスタートしました。



【山中拓哉君のコメント】

一月例会は、私にとつて初の担当委員会の事業であり、新鮮な気持ちで取り組みました。今回一月例会の司会を任せて頂くこととなり、四十周年のいいスタートを切るための非常に責任のある役割だと理解はしていましたが、シミュレーションを行うまで大変さに実感が湧きませんでした。何度も入念にシミュレーションをすることにより、紙を読むだけでは分からないことがあり、例え直前も委員会以外のメンバーの方々から修正すべき点を指摘され、多くのアドバイスを頂きました。準備の大切さを改めて学びました。そして皆様から支えられたからこそ大きな問題がなくて済むことができました。司会に関して私は今回経験したので初めて経験される方がおられたら次は支えようと思います。また、私が新しい役割をするときはまた支えて頂くこととなります。そのサイクルを繋いでいって乙訓青年会議所は成り立っていると理解し、今後はその想いをもって微力ながら貢献したいと思えました。

【吉田直道君のコメント】

今回新春交歓会の司会という大役を任せて頂き、緊張しながら挑みました。委員会メンバーの皆様につけて頂いたシナリオをしっかり練習し、順序を間違えないよう万全の体制で臨みましたが、当日はイレギュラーも多く、司会やステージに注目を集めきれなかった事は今後の反省点であると実感しております。ただ、大きなトラブルなく終えられたこと、理事長始め他のメンバーによかったと思つて頂いた新春交歓会になったことは、今後私がJCI活動をする上で自信に繋がったと思います。いい経験をさせて頂いたことには感謝しております。今年乙訓青年会議所は四十周年という節目の年を迎え、その中で四十年特別委員会に配属された意味を受け止め、メンバーと切磋琢磨したいと思つております。その一歩として、一月例会、新春交歓会が無事に終わることができ、嬉しく思います。今後とも委員会メンバーの皆様と力を合わせ盛り上げていきたいと思えます。ありがとうございます。



京都会議

本年度も京都会議が一月八日(金)〜一月二〇日(日)の期間、国立京都国際会館を主に京都市内各所において開催されました。一九六六年一月にJCI世界会議が日本国内二カ所目の開催地として京都の地で行われています。また、日本青年会議所の新年度のスタートとなる通常総会を始めとする諸会議を「京都会議」と総称して開催されております。本年度、日本青年会議所は「誰もが挑戦できる幸せな日本の創造」を基本理念に活動されます。新年度のスタートとなる様々な諸会議や委員会、セミナーやフォーラムが活発に行われ、今年度も日本青年会議所に乙訓青年会議所からもメンバーが出席されており、参加しました。二〇日(日)に開催されました、「多子社会創造会議」は日本の課題である少子化に対して本気で向き合い議論していくための会議体であり、二〇一九年度の日本青年会議所が打ち出す政策提言の三本の柱の一つとして新設されました。「多子社会創造会議」フォーラム「グローバル10セッション」日本



人絶滅の危機」では、講師に河合雅司氏、池田修氏をお迎えし、現在の日本が抱える課題や迎える未来について議論が行われました。乙訓青年会議所からは遠城委員と新庄委員が出席しており、受付、誘導、会場案内等で活躍されておりました。出席されているお二人には、このような地域や経済に関わる重要な問題を学んで頂き、自分たちの住まう地域に持ち帰ることで問題を解決していく礎となつて頂けたと感じております。他にも、「価値デザイン会議」が担当するフォーラムが行われ、価値デザイン会議へは田中運営幹事、小野委員、佐伯委員、百々委員、山中委員が出席されております。価値デザインとは、内閣府の「知的財産戦略本部」の専門調査会である「知的財産戦略ビジョンに関する専門調査会」で、日本が目指すべき社会のビジョンとして生み出されたのが「価値デザイン社会」という考え方です。このような考え方を、今回のフォーラムを通して参加して頂いた乙訓のメンバーをはじめ、多くの方に向けて頂く良い機会になったのではないかと考えます。そして、「拡大セミナー」も開催しており、第



京都会議LOMナイト

一月十九日(土)「かにの山よし」にて京都会議LOMナイトが開催されました。日本青年会議所、近畿地区協議会、京都ブロック協議会へ出席される皆様を激励し、送り出す夜となりました。出席者一人ひとりから意気込みを述べ、一年間の活動に対する方向性を示して頂きました。様々な地で多くの経験を通過して学びを得て頂き、今後の青年会議所活動に繋がっていきます。



事務局開き

一月四日(金)乙訓青年会議所事務局開きが行われ、三浦理事長が掲げられるスローガン「新」に挑む志を胸に新たな価値を創造しようとの、いよいよ本格的に新体制が始動しました。三浦理事長の挨拶の後に全理事メンバーで新年を祝う、梅尾布茶を頂き、行政や地域諸団体の皆様に新年の挨拶廻りへと出発しました。二〇一九年度も「明るい豊かな社会」の実現を目指し、一年間活動してまいります。



今月のコレ！買いました！

正会員メンバーが今月買ったモノから、その人となりを知る新コーナーです。今月は二月入会の河地祐紀君です。

最近購入した物はスタッドレスタイヤでトヨタの営業マンが乗っている車のタイヤがツルツルでは恥ずかしいのと、身の危険を感じたので買い換えました。車は毎日、通勤と仕事で使用し、自宅前の坂がかなり急なので、雪が降ると登れないため、どんな時でも、どこでも営業に走れるように準備していますので、呼んで頂ければすぐに駆けつけます！



河地佑紀

Profile

所属委員会：JAYCEE育成委員会
仕事：トヨタの車営業
趣味：ドライブ
特技：これといった特技は無いデス！
利腕：右利き
血液型：B OのB
好きな食べ物：いちご
子供の時はいちごをもらえばすぐに機嫌が良くなる素直な子でした。
万全の準備をして仕事に臨む。その精神をJC活動でも活かし頑張ってくれる事を期待しています！

一部「危機感をもって青年会議所の未来を考える」第二部「各地の取り組みから学ぶ拡大手法」の二部構成で、冒頭に青年会議所の「消滅の危機」というショッキングな内容からのスタートでした。乙訓青年会議所だけでなく全国的にも会員が減少傾向にあることが再認識できました。具体的な手法も学ぶことができましたが、候補者の価値観も日々変わりゆく中で、全国的に組織内部の変革も推し進められていることもクローズアップされており、セミナー中では「どのような組織も社会の変化についていかなければ消滅する定めにあります」という二〇一九年度の会頭所信より抜粋された言葉にもあるように会員拡大とともに乙訓青年会議所の未来を考えるセミナーとなりました。たくさんの方のセミナーやフォーラム等が開催される京都会議のような大きなイベント等において、青年会議所というスケールメリットがあるからこそ様々な学習の機会があると考えます。是非このような機会にご参加頂ければと思います。



茶道同好会青松会 初釜

二〇一九年一月十二日(土)、上田宗清先生宅にて公益社団法人乙訓青年会議所茶道同好会青松会の初釜式が開催されました。多くの先輩諸兄姉とともに三浦理事長を始めとした現役メンバーも参加し、新年のご挨拶を交わした後に先生が点てたお茶を楽しむ、お祝いの食事をともにし、和やかな雰囲気の中、親睦を深めました。また、お茶席では風格漂う離れのお茶室にて、丹念に練られたお濃茶を一杯の茶器で飲み回すことで、その場の一体感を感じながら、同席する方々一人ひとりに対する気遣いについて学べる機会となりました。



茶道同好会青松会では現役卒業生問わず随時体験お稽古を受付けておられますので、是非お越しください。

我々の住まう乙訓地域も大地震や台風や豪雨に伴う洪水など、地域住民は常に自然の猛威と向き合わなければならないと考えます。災害を生き抜くには何が大切なのか。防災を役立てるには何が大切なのか。本年度、乙訓文化少年団では「防災」をテーマに様々なイベントで子供たちに「生き抜く力」を備えて頂きます！

< 詳細 >

- ・団員の対象は小学1年生～6年生の児童です。
- ・年間登録料は10000円となります。
- ・事業年度は毎年4月1日から12月31日までとなります。
- ・事業において天候等による不慮の原因での中止、団員の欠席時等、登録費の返金は致しません。また、雨天のため開催ができない事業に関しましては、当日八時までにご連絡致します。
- ・事業中止の振替日の設定は基本的にありません。(ある場合は事業案内に記載)
- ・事業の日程に変更がある場合は、1か月前の案内に記載致します。
- ・事業中の怪我等の対応については、病院の手配、連絡等迅速な対応ができる準備をしています。

2019年度 乙訓文化少年団 団員募集



ここ乙訓地域も大地震や台風や豪雨に伴う洪水など地域住民は常に自然の猛威と向き合わなければならないと考えます。
災害を生き抜くには何が大切なのか？
防災を役立てるには何が大切なのか？
今年度乙訓文化少年団では「防災」をテーマに様々なイベントで子供たちに「生き抜く力」を備えて頂きます！



議長・委員長から1年間の念い



議長 上原史明

近年、乙訓青年会議所の会員数は減少傾向にあり、会員の減少は組織の存続の危機に繋がるだけではなく、我々の運動の根幹でもある、明るい豊かな社会の実現に向けた活動の影響力の低下へと繋がる重大な課題でもあります。今年度は理事メンバーで構成された会員拡大会議として活動を行います。会員拡大意識の向上が必要とされている今、まずは私自身が魅力的な人間になることで、周囲にその魅力を伝播し一人でも多くの若者に共感して頂き、ともに活動してくれる仲間を募ってまいります。ご協力をお願い致します。

自分のために、組織のために、そして地域のために。

All Expanding 2019



委員長 佐々木 彰吾

近年、自然災害が多発し防災教育の重要性が高まっています。災害対応力向上は地域の課題となつている中、自分の命を自分で守る「生き抜く力」が重要と考え、子供たちが主体的に行動し、災害時に災害弱者とならないように我々がしっかりと導いていかなくてはなりません。そこで本年度防災教育委員会では「防災」をテーマに年間活動してまいります。活動を通じ子供たちや地域の皆様に防災教育の大切さを伝えていきたいと思っております。



委員長 大塚 健介

総務財政委員会は、明るい豊かな社会の実現に向けて挑戦し続けるメンバーの想いを形にするために、各委員会の下支えをします。そして、公益法人として地域から信頼される組織となるために、適正な財務運営と情報管理を行います。組織運営の中核を担うことに責任と誇りを持ち、この一年間の学びを今後の活動への礎とすべく邁進してまいります。



委員長 山口 雄司

本年度、乙訓青年会議所は40周年の節目の年を迎えます。その際に発足される五年に一度の委員会でもあり、不安とプレッシャーを感じています。このプレッシャーを前向きに捉えて一年間、委員会メンバーと全力で活動し、先輩諸兄から脈々と繋がれてきた創始の精神を継承し、乙訓青年会議所がさらに誇りある集団となるように信念をもって一年間活動してまいります。



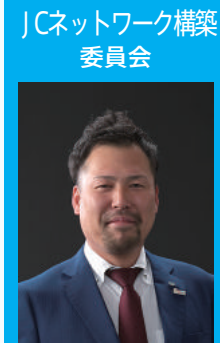
委員長 藤田 真也

JAYCEE育成委員会は、メンバー一人ひとりの成長を促し、自己成長を自社成長に繋げ、成長したメンバーが地域に主体的に貢献することで、自分たちの活動に対し、誇りを持って取り組んでまいります。そして、私たちの委員会こそが一番成長し、苦難を笑える思い出にできるよう、精一杯頑張ります。一年間どうぞよろしくお願致します。



委員長 今井 政樹

地域に我々の運動や活動を発信していただく、地域市民からの認知度は未だ充分とは言えません。乙訓青年会議所が行っている運動や活動を一方的に発信するだけでなく、地域が必要とする情報や時代に即した発信による広報で、地域市民に共感と賛同を得る必要があります。そこで、今までの広報活動を検証するとともに、心に響く伝え方や、様々な情報媒体の特色を知ること、一人でも多くの地域市民が乙訓青年会議所に関心をもって頂く戦略を見出し、地域市民に発信していきます。



委員長 坂元 陸

Jネットワーク構築委員会では、新たなリーダーとの出会いやメンバーとの絆の構築、スケールメリットを活かした事業や活動で得る経験や知識が、向者の成長に繋がること、成長がLOMの発展に繋がること、成長がLOMの発展に繋がることが、成長に必要であると考えました。そこで、活気と情熱に満ち溢れ、メンバーが新しいことに挑戦できるような「高揚感」「責任感」「達成感」を大切に活動します。より高い壁に挑み、全力でやり遂げたものにしか味わえない自己成長。一人ひとりの成長を乙訓青年会議所の発展へ寄与します。

十二月例会

二〇一八年十二月十三日(木)、ハイアットリージェンシー京都にて催理理事長が掲げられた「己！誇りある集団へ」―何事にも打ち克てる志高い青年となれ―のスローガンテーマのもとで活動してきた一年間の総まとめとして十二月例会が開催されました。褒賞授与式では、二〇一八年度に顕著な活動をされたメンバーへの表彰を行い、受賞者を祝いました。受賞者の誇らしげな姿を見て、次年度の活動への活力になりました。委員長・理事長総括では各委員会が登壇し、委員長からメンバー一人ひとりに誇いの言葉が捧げられました。未来の宝育成委員会の総括ではサブライズとして病床から近藤委員長のビデオメッセージが届けられ、手術が成功し元気な姿、メンバーへの想いのこもった感謝のメッセージに理事長をはじめ一同涙する場面がありました。理事長・直前理事長バッチの交換、プレジデントシャルリス・伝達式を経て、次年度への引継が無事行われました。

- 【特別功労賞】 谷口 直満 君
 - 【出向者特別賞】 谷口 直満 君
 - 【最優秀新人賞】 山城 直也 君
 - 【優秀会員賞】 佐伯 昌裕 君
 - 【最優秀委員長賞】 嶋田 剛 君
 - 【委員会特別賞】 坂元 陸 君
- 総務財政委員会



十二月卒業式



十二月三日(木)にハイアットリージェンシー京都にて特別会員の方々をお招きする中、参加者全員で卒業生の新たな門出を祝福し、「二〇一八年度十二月卒業式」が開催されました。卒業生の活動写真を使用したオープニング映像から式典は開会し、卒業スピーチでは六名の卒業生が自身のJ.C活動を振り返りながら、特別会員の方々、現役メンバーに対しての感謝や想いを熱く丁寧にスピーチされました。面白くも感動し、想いの詰まったスピーチを聞くことで、現役メンバーはこれからの活動に向けて、より一層、意識を高くもち、現役メンバーとしての気概が生まれたことと思います。後の花束贈呈では卒業生一人ひとりに向けて代表者より手紙を朗読し、会場が涙溢れる中、六名の卒業生は無事に卒業式を終えられました。卒業されてから気付くことがこれからも多くあると思いますが、六名の先輩の背中を追いかけて次年度以降も乙訓青年会議所の正会員として活動することの意味、楽しさを感じることできた卒業式でした。

十二月忘年会

卒業式の後には開催した「十二月忘年会」では飛竹会谷会長をはじめとされる特別会員の皆様とともに、二〇一八年度活動の労をねぎらい、忘年会を開催致しました。冒頭での催理理事長の挨拶にて開会し、二〇一八年度に活動した現役メンバー同士や特別会員の方々を交えて迎える忘年会では、乙訓青年会議所の特徴でもある「やるときはやる、飲むときは飲む」という素晴らしい伝統が垣間見

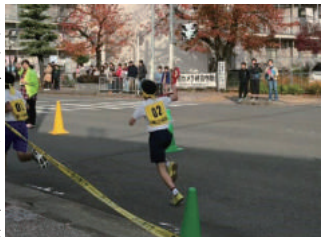
乙訓文化少年団 十二月餅つき



二〇一八年十二月九日(日)に乙訓文化少年団を長岡天満宮で開催しました。蒸しあがった餅米を石臼と杵を使い、慣れない手つきの子供たちとともにつきました。粉まみれになりながらお餅を丸め、砂糖醤油やきなこ、善哉など思い思いの食べ方で普段は味わえないつきたてのお餅をみんなで味わいました。また、ご参加いただいた保護者の方々にも子供たちとお餅をつき、つきたてを味わっていただきました。食べ物に対する感謝の気持ちを学び、古来より行われていた行事を体験する機会になったと考えます。



乙訓ふるさとふれあい駅伝



一二月一日(日)第一回乙訓ふるさとふれあい駅伝(第二九回乙訓地方小学生駅伝大会)が開催されました。例年のごとく秋晴れの気持ちのいい陽気のもと、選手たちは自分達の住む町である、乙訓二市一町を駆け抜けました。沿道での応援の方々も回を重ねることに増え、将来の街の発展を担う子供たちの懸命な姿が頼もしく見えたと思います。このような愛郷心を感じられる事業に今年も関わられたことを誇りに思うとともに、子供たちのためにも我々大人がしっかりと方向性を示していく必要性を再認識する事業となりました。

次回例会案内

乙訓青年会議所は、創始の熱い志から始まり、先輩方が、この熱い志を脈々と受け継がれ、地域の付託と信頼に応えてこられ、本年度四〇周年を迎えます。

一月例会では、第四〇代三浦理事長が掲げられますスローガン「新」に挑む、一志を胸に新たな価値を創造しよう」の想いと、乙訓青年会議所の方向性や活動内容をご理解して頂くことを目的に開催させていただきます。

また、新春交歓会では、乙訓青年会議所メンバーと参加者との信頼関係をさらに深め、今後の乙訓青年会議所の運動にご協力して頂ける関係性を構築することを目的に開催させていただきます。

大変おめでとうございます、お時間となりますが、何卒、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

日時	2019年1月11日(金)
時間	17:30~18:30(登録開始 16:30)
	新春交歓会 19:00~21:00(登録開始 18:30)
会場	ハイアット・リージェンシー 京都 1階 ボールルーム
所在地	京都市東山区三十三間堂 644番地2
TEL	075-541-1234